

農001	項目名	ふるさとの味祭り事業費	新規事業
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	241
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成3年から鳥取市の「とっとりイモコンフェスティバル」、JA鳥取いなばの「とっとり農業フェスタ」を「とっとり自然のめぐみ感謝祭」として合同開催していた。平成26年からは、県・市町・JAが一体となり、「食のみやこ鳥取県いなば農産物フェスタ」を開催することとなり、「とっとりイモコンフェスティバル」はこれの中で継続して開催している。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 生産者自らが本市の農林水産物のPR・販売を行うことにより、販路拡大・地産地消・農業所得の向上に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 鳥取藩の伝統料理「イモコン鍋」を中心に、本市で収穫された農産物や加工品をPR・販売する(トットリ・アフトピア協会へ委託)。 (事業の実績) 平成27年度 1,228千円 (32,000人) 平成28年度 1,132千円 (32,500人) 平成29年度 1,080千円 (28,000人)		
前年度当初予算額	1,080	行財政改革課処理欄	
本年度要求額	1,273		
総務部長段階査定額	850	その他財源の内訳	
市長段階査定額	850	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	850	繰入金	0
計	850	雑収入	0
		その他	0

農002	項目名	ふるさと村推進事業費補助金	新規事業
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	241
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成3年度から、アフトピア協会会員の生産した農林水産物や加工品を「ふるさと宅配便」として全国に発送している。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 四季を通じて本市の安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、本市のPR及び農林水産物・加工品の販路拡大に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 実施主体であるトットリ・アフトピア協会に対し、宅配便の発送、PR等に要する経費の一部を補助する。 (事業実績) ※ふるさと宅配便申込数 平成27年度 1,150便 (年4回) 平成28年度 1,162便 (年4回) 平成29年度 882便 (年3回)		
前年度当初予算額	701	行財政改革課処理欄	
本年度要求額	690		
総務部長段階査定額	500	その他財源の内訳	
市長段階査定額	500	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	500	繰入金	0
計	500	雑収入	0
		その他	0

農003	項目名	農産物加工センター管理運営費	新規事業
予算書項目	農産物加工センター管理運営費		ページ 241
年度	H30		
所属名	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農産物の加工技術の習得・向上による地域農業の振興と共同利用による地域住民の連帯感の醸成を図ることを目的に、市内各地に農産物加工等施設を整備している。現在は、「鳥取市公共施設再配置基本計画」に基づき、これら施設の地元への移管等を進めている。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 必要な修繕等を行うことにより、各施設の機能を維持するとともに、地元等への移管の取組みの円滑化に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 施設の修繕等による維持管理 (鳥取) 鳥取市農産物加工センター、東郷農産物加工施設 (国府) 成器・麻生・大茅地区農産物加工施設、転作促進集会研修施設七草の家 (福部) 福部アイデア館、洗濯・乾燥施設 (用瀬) 社・大村農産物加工施設 (気高) 農産物加工施設 (事業の実績) 平成27年度 23,833千円 平成28年度 21,472千円 平成29年度 24,615千円(見込)		
前年度当初予算額 22,696	* その他財源の使用料等は、農産物加工センター使用料、電柱敷地使用料及び駐車場用地使用料等		
本年度要求額 34,614			
総務部長段階査定額 25,065	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 施設の修繕等による維持管理 (鳥取) 鳥取市農産物加工センター、東郷農産物加工施設 (国府) 成器・麻生・大茅地区農産物加工施設、転作促進集会研修施設七草の家 (福部) 福部アイデア館、洗濯・乾燥施設 (用瀬) 社・大村農産物加工施設 (気高) 農産物加工施設 (事業の実績) 平成27年度 23,833千円 平成28年度 21,472千円 平成29年度 24,615千円(見込)		
市長段階査定額 25,065	* その他財源の使用料等は、農産物加工センター使用料、電柱敷地使用料及び駐車場用地使用料等		
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 施設の修繕等による維持管理 (鳥取) 鳥取市農産物加工センター、東郷農産物加工施設 (国府) 成器・麻生・大茅地区農産物加工施設、転作促進集会研修施設七草の家 (福部) 福部アイデア館、洗濯・乾燥施設 (用瀬) 社・大村農産物加工施設 (気高) 農産物加工施設 (事業の実績) 平成27年度 23,833千円 平成28年度 21,472千円 平成29年度 24,615千円(見込)	
財源内訳		* その他財源の使用料等は、農産物加工センター使用料、電柱敷地使用料及び駐車場用地使用料等	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	2,552		
一般財源	22,513		
計	25,065		
行財政改革課処理欄			

農004	項目名	新規就農推進事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費		ページ 241
年度	H30		
所属名	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室担い手支援係 0857-20-3239		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業者等の高齢化、農業就業人口の減少等により、中山間地域を中心とした耕作放棄地の増加、農業産出額の減少が顕著になっており、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込むなど、将来に向けた担い手の確保と持続的な生産体制の構築が課題となっている。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 新規就農者を確保するため、農業研修生の育成や円滑な就農定住を促進するために必要な経費について支援を行う。また、農業後継者が親の経営に参画する場合における収入増が見込めない初期段階の経済的支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①ふるさと就農 指定管理(指定管理者:一般財団法人鳥取市農業公社) ②とっとり農業体験事業 ③就農相談員・就農アドバイザー設置事業 ④就農準備金事業 (事業の実績) 平成27年度 14,193千円(研修生4名、後継者2名) 平成28年度 14,649千円(研修生2名、後継者2名) 平成29年度(見込) 12,834千円(研修生2名)		
前年度当初予算額 16,665	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①ふるさと就農 指定管理(指定管理者:一般財団法人鳥取市農業公社) ②とっとり農業体験事業 ③就農相談員・就農アドバイザー設置事業 ④就農準備金事業 (事業の実績) 平成27年度 14,193千円(研修生4名、後継者2名) 平成28年度 14,649千円(研修生2名、後継者2名) 平成29年度(見込) 12,834千円(研修生2名)		
本年度要求額 12,682	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①ふるさと就農 指定管理(指定管理者:一般財団法人鳥取市農業公社) ②とっとり農業体験事業 ③就農相談員・就農アドバイザー設置事業 ④就農準備金事業 (事業の実績) 平成27年度 14,193千円(研修生4名、後継者2名) 平成28年度 14,649千円(研修生2名、後継者2名) 平成29年度(見込) 12,834千円(研修生2名)		
総務部長段階査定額 11,342	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①ふるさと就農 指定管理(指定管理者:一般財団法人鳥取市農業公社) ②とっとり農業体験事業 ③就農相談員・就農アドバイザー設置事業 ④就農準備金事業 (事業の実績) 平成27年度 14,193千円(研修生4名、後継者2名) 平成28年度 14,649千円(研修生2名、後継者2名) 平成29年度(見込) 12,834千円(研修生2名)		
市長段階査定額 11,342	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①ふるさと就農 指定管理(指定管理者:一般財団法人鳥取市農業公社) ②とっとり農業体験事業 ③就農相談員・就農アドバイザー設置事業 ④就農準備金事業 (事業の実績) 平成27年度 14,193千円(研修生4名、後継者2名) 平成28年度 14,649千円(研修生2名、後継者2名) 平成29年度(見込) 12,834千円(研修生2名)		
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①ふるさと就農 指定管理(指定管理者:一般財団法人鳥取市農業公社) ②とっとり農業体験事業 ③就農相談員・就農アドバイザー設置事業 ④就農準備金事業 (事業の実績) 平成27年度 14,193千円(研修生4名、後継者2名) 平成28年度 14,649千円(研修生2名、後継者2名) 平成29年度(見込) 12,834千円(研修生2名)	
財源内訳		【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①ふるさと就農 指定管理(指定管理者:一般財団法人鳥取市農業公社) ②とっとり農業体験事業 ③就農相談員・就農アドバイザー設置事業 ④就農準備金事業 (事業の実績) 平成27年度 14,193千円(研修生4名、後継者2名) 平成28年度 14,649千円(研修生2名、後継者2名) 平成29年度(見込) 12,834千円(研修生2名)	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	11,342		
計	11,342		
行財政改革課処理欄			

農005	項目名	新規就農営農支援事業費		新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費		ページ	241
年度	H30		所 属 名	
			農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業者等の高齢化、農業就業人口の減少等により、中山間地域を中心とした耕作放棄地の増加、農業産出額の減少が顕著になっており、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込むなど、将来に向けた担い手の確保と持続的な生産体制の構築が課題となっている。			
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 新規就農を目指す青年等が、安定して就農初期の経営を行うことができるよう生活支援を行うとともに、農地賃借料助成、住居家賃助成を行うことで就農時の負担を軽減する。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①農業次世代人材投資資金 ②就農応援交付金 ③農地賃借料助成事業 ④住居家賃助成事業 ⑤就農条件整備事業 (事業の実績) 平成27年度決算 23,582千円 平成28年度決算 49,251千円 平成29年度決算 40,171千円(見込)			
前年度当初予算額	39,645	行財政改革課処理欄		
本年度要求額	46,347			
総務部長段階査定額	40,885	その他財源の内訳		
市長段階査定額	40,885	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
国・県支出金	36,397	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	4,488	寄付金	0	
計	40,885	繰入金	0	
		雑収入	0	
		その他	0	

農006	項目名	農業公社運営事業補助金		新規事業
予算書項目	農業公社運営事業補助金		ページ	241
年度	H30		所 属 名	
			農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室担い手支援係 0857-20-3238			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取市農業公社は、平成20年の国府・鹿野・青谷の公社統合と平成25年の一般財団法人化を経て、高齢化や後継者不足に対応するため、農地保有合理化事業と農作業受託事業を行い地域農業の振興に寄与してきた。 現在、農地利用集積円滑化団体として、鳥取、福部、国府、鹿野、青谷地域のエリアで農地の流動化や荒廃農地の拡大防止に取り組んでいる。			
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 農業公社の円滑な運営を支援し、農地保全及び集積による地域農業の振興と農村地域の維持発展を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 農業公社運営事業補助金 10,876千円 実施事業：農地利用集積円滑化事業、農地保全等事業、指定管理施設運営事業など (事業の実績) 平成27年度 15,168千円 平成28年度 15,061千円 平成29年度 11,972千円(見込)			
前年度当初予算額	11,948	行財政改革課処理欄		
本年度要求額	11,948			
総務部長段階査定額	10,876	その他財源の内訳		
市長段階査定額	10,876	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
国・県支出金	0	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	10,876	寄付金	0	
計	10,876	繰入金	0	
		雑収入	0	
		その他	0	

農007	項目名	共同利用施設整備等事業費	新規事業
予算書項目	共同利用施設整備等事業費	ページ	241
年度	H30	所属名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 地域の農業振興や生活環境の改善等を目的に、市内各地に農機具保管庫、共同作業場、集会所等を整備している。現在は、鳥取市公共施設再配置基本計画に基づき、これら施設の地元移管等を進めている。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 必要な修繕等を行うことにより、各施設の機能を維持するとともに、地元等への移管の取組みの円滑化に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額 6,443	(事業の内容) 施設の修繕等による維持管理		
本年度要求額 5,499	(事業の実績)		
総務部長段階査定額 3,497	その他財源の内訳	修繕等の延べ数	
市長段階査定額 3,497	分担金 0	平成27年度 9施設	
	負担金 0	平成28年度 14施設	
	使用料 79	平成29年度 9施設 (見込)	
	手数料 0		
区分 本年度予算額	財産収入 187		
財源内訳 国・県支出金 0	寄付金 0		
地方債 0	繰入金 0		
その他 266	雑収入 0		
一般財源 3,231	その他 0		
計 3,497			
行財政改革課処理欄			

農008	項目名	経営所得安定対策推進事業費	新規事業
予算書項目	水田営農活性化促進事業費	ページ	241
年度	H30	所属名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 国が「農業者戸別所得補償制度」として平成23年度から実施し、平成25年度から名称変更した「経営所得安定対策推進事業」の実施にあたり、地域農業再生協議会が中心となり推進に係る必要な事務処理を行っている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 「経営所得安定対策推進事業」に係る推進活動や要件確認等に必要な経費について支援を行い、円滑な事業推進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額 10,641	(事業の内容)		
本年度要求額 11,000	対象作物ごとの農業者別の生産数量目標の設定、申請書類の配布・回収、対象作物の作付け面積等の確認、農業者情報システム入力、制度の普及・推進等の事務を行う鳥取市農業再生協議会に補助金を交付する。		
総務部長段階査定額 10,505	その他財源の内訳	・補助対象者 鳥取市農業再生協議会	
市長段階査定額 10,505	分担金 0	・補助金額 10,505千円	
	負担金 0	内訳	現地確認等謝金 3,200千円
	使用料 0	旅費 100千円	
	手数料 0	事務等経費 5,205千円	
区分 本年度予算額	財産収入 0	電算処理等委託費 2,000千円	
財源内訳 国・県支出金 10,505	寄付金 0		
地方債 0	繰入金 0		
その他 0	雑収入 0		
一般財源 0	その他 0		
計 10,505			
行財政改革課処理欄			
		・財源 全額県補助金 ※県から交付される額を上限とする	
		(事業の実績)	
		平成27年度 10,646千円	
		平成28年度 10,641千円	
		平成29年度 9,509千円 (単県費と合わせて10,505千円) (見込)	

農009	項目名	市民農園設置事業費	新規事業
予算書項目	市民農園設置事業費	ページ	241
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 昭和53年度に里仁地区に市民農園を開設して以降、昭和63年度に滝山・叶地区、平成4年度に祢宜谷地区、平成7年度に布勢地区、平成18年度に湖山地区、平成20年度に吉岡地区と順次開設し、利用者に貸し出している。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に提供する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 鳥取地域7地区(里仁・布勢・滝山・叶・祢宜谷・湖山・吉岡)の農園を希望者に貸し出す。 開設区画数:全397区画(66㎡:97区画、33㎡:300区画) (事業の実績) ・実績額 平成27年度 1,939千円(鳥取:494区画) 平成28年度 3,348千円(鳥取:397区画)(里仁BC閉園) 平成29年度(見込) 1,337千円(鳥取:397区画) ・区画利用率 平成27年度 95.5%(472区画/494区画) 平成28年度 90.2%(358区画/397区画) 平成29年度 82.9%(329区画/397区画) *その他財源の諸収入は、市民農園利用料		
前年度当初予算額	1,337		
本年度要求額	3,384		
総務部長段階査定額	1,406	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,406	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	1,264
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	1,264		
一般財源	142		
計	1,406		
行財政改革課処理欄			

農010	項目名	地域米消費拡大対策事業費	新規事業
予算書項目	米消費拡大事業費	ページ	241
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 米の消費量が年々減少していることから、我が国の食糧事情及び伝統的な主食である米の重要性についての幅広い周知が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 学校教育分野で、米の消費拡大及び食育の推進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 小学校で実施される「米づくり体験」、及び「米料理教室」に対して、助成を行う。 (1)米づくり体験学童農園 委託先:各小学校PTA等 (2)米料理教室(米づくり体験学童農園実施校対象) 委託先:鳥取市食育推進委員会 (事業の実績) 平成27年度 1,140千円 米づくり体験学童農園 24校 米料理教室 25回 平成28年度 1,305千円 25校 27回 平成29年度 1,317千円(見込) 25校 25回		
前年度当初予算額	1,317		
本年度要求額	1,321		
総務部長段階査定額	1,321	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,321	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	263		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,058		
計	1,321		
行財政改革課処理欄			

農011	項目名	果樹等安定生産支援事業費補助金		新規事業
予算書項目	果樹等安定生産支援事業費		ページ	241
年度	H30		所属名	農林水産部 農業振興課
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農業振興費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	2,309			
本年度要求額	2,309			
総務部長段階査定額	2,309	その他財源の内訳		
市長段階査定額	2,309	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	2,309		
	計	2,309		
行財政改革課処理欄				
事業の概要 【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234 【10次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 本市の代表的農産物である梨、柿、ぶどう等の果樹は、気象条件による収量減少での所得不足を要因として離農も多い。そのため、共済に加入し所得の減少を最小限に抑えることで、離農を防止することが求められている。 【事業の目的及び効果】 梨、柿、ぶどう等の生産農家の所得減少を抑制し、持続的営農と産地維持を促進するため、共済掛金の一部助成による共済加入促進を行う。 【事業の内容・実績】 (事業の内容) 果樹及び大豆共済に加入するための掛金のうち1.625/10を補助 果樹：国 50% 市 16.25% 農家 33.75% 大豆：国 55% 市 16.25% 農家 28.75% (事業の実績) ◎果樹共済補助金(市) 平成27年度 2,170千円 平成28年度 1,782千円 平成29年度 1,756千円(見込) ◎大豆共済補助金(市) 平成27年度 198千円 平成28年度 139千円 平成29年度 135千円(見込)				

農012	項目名	果樹振興対策事業費		新規事業
予算書項目	園芸産地づくり事業費		ページ	241
年度	H30		所属名	農林水産部 農業振興課
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農業振興費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	12,543			
本年度要求額	28,857			
総務部長段階査定額	15,126	その他財源の内訳		
市長段階査定額	15,126	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	14,008		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,118		
	計	15,126		
行財政改革課処理欄				
事業の概要 【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234 【10次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 本市の果樹栽培は、生産者の高齢化・後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数、栽培面積、生産量ともに減少傾向にある。 【事業の目的及び効果】 果樹生産、出荷、販売等を総合的に支援し、生産振興、消費拡大、意欲ある生産者の確保を図る。 【事業の内容・実績】 (1)果樹振興対策事業《単市》【継続：対象品種は新品種・振興品種以外】 ①5a以上の梨の新・改植に対し10,000円/aを上限に5年間助成(補助率:1/2) ②柿、桃、ぶどう、ビワの新・改植に対し、苗木購入経費を助成(補助率:1/2) ③品質生産性向上支援 品質・生産性向上を図る為の資材経費助成(補助率:1/2) (2)鳥取梨生産振興事業 ・梨の新品種及び県振興品種の導入とそれに伴う基盤整備に係る経費の支援 ・育成管理費(奨励金)新改植200千円/10a(補助率:県1/2、市1/2) (3)鳥取柿ぶどう等生産振興事業 ・「輝太郎」をはじめとした新品種及び県振興品種の導入とそれに伴う基盤整備に係る経費の支援 ・育成管理費(奨励金)柿48,000円/10a、ぶどう94,000円/10a、桃47,000円/10a (4)低コスト・体制強化事業(補助率:県1/3) ・共同機械利用、オペレーター体制を整備して圃園化防止、低コスト化、産地維持に取組む場合の機械購入等(ストロップレヤ、草刈モア等)に係る経費の支援 (5)育苗委託促進対策(補助率:県2/3) ・ジョイント栽培の取組みを進めるために必要な2年生大苗の育苗委託に係る経費の支援 (事業の実績) 平成27年度 33,303千円 平成28年度 6,136千円 平成29年度 11,324千円(見込)				

農013	項目名	農産物生産振興対策等総合支援事業費		新規 事業
予算書項目	地域特産物振興対策事業費	ページ	243	所 属 名
年度	H30	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 各地域、産地で生産される農産物、加工品は多種多様であり、地域毎の生産者等の実情に沿った振興策が求められている。			
目 農業振興費	【事業の目的】 特色ある農産物やブランド農産物など、各地域・産地の農産物・加工品の生産拡大と産地育成を総合的に行い、生産振興による地域活性化を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①特産品生産等むらづくり支援事業 地区、集落等が取組む特産品開発研修、販路拡大活動、機械・資材導入支援 補助率:2/3以内(補助金上限30万円) ②地域特産品振興対策事業 作付拡大しているブロックリー、アスパラガス、生姜の出荷に対する支援 補助率:ブロックリー40円/kg、アスパラガス80円/kg、生姜5円/kg ③野菜生産拡大支援事業 生産規模拡大に係る資材等の経費に対する支援 補助率:1/3以内 (事業の実績) 平成27年度 5,401千円 平成28年度 4,803千円 平成29年度 5,116千円(見込)			
前年度当初予算額	5,116	分担金 0		
本年度要求額	4,931	負担金 0		
総務部長段階査定額	3,612	使用料 0		
市長段階査定額	3,612	手数料 0		
区分	本年度予算額	財産収入 0		
国・県支出金	87	寄付金 0		
地方債	0	繰入金 0		
その他	0	雑収入 0		
一般財源	3,525	その他 0		
計	3,612			
行財政改革課処理欄				

農014	項目名	みんなでやらいや農業支援事業費		新規 事業
予算書項目	みんなでやらいや農業支援事業費	ページ	243	所 属 名
年度	H30	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画(プラン)に対し支援を行うことで、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図ってきた。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲ある農業者、農業集団等が目的達成のために作成したプランに位置づけた取組みに対し支援を行い、地域農業の振興や活性化を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 事業実施主体の作成した計画を実現するために必要な事業に対し助成する。 (補助率:ハード 県1/3、市1/6 ソフト 県1/2、市1/6) 平成30年度実施予定 農家プラン 鳥取(継続2件)トラクター、コンバイン、鶏糞散布機ほか 国府(継続1件)コンバイン、乗用管理機ほか 気高(継続1件)トラクター 河原(継続1件)草刈機、ハウスほか 地域プラン JA(継続2件)ソフト:セルトレイ導入支援他 ハード:白ねぎ皮剥ぎ機ほか (事業の実績) 平成27年度 15,091千円 平成28年度 22,492千円 平成29年度 55,436千円(見込)			
前年度当初予算額	42,696	分担金 0		
本年度要求額	69,397	負担金 0		
総務部長段階査定額	54,034	使用料 0		
市長段階査定額	54,034	手数料 0		
区分	本年度予算額	財産収入 0		
国・県支出金	39,954	寄付金 0		
地方債	0	繰入金 0		
その他	0	雑収入 0		
一般財源	14,080	その他 0		
計	54,034			
行財政改革課処理欄				

農015	項目名	農産物販路拡大支援事業費	新規事業																				
予算書項目	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	243																				
年度	H30	所属名	農林水産部 農業振興課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3074																						
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104																						
項 農業費	【事業の経過及び背景】 食の「安全・安心」が求められている中、本市の魅力ある農林水産物等をマルシェや試食宣伝・商談会などを通して関西圏を中心にPRしてきた。しかし、潜在的な需要はあるものの、安定供給が困難な事や流通コスト等の理由により、直接取引に繋がらないケースが多い。その課題解決のため、産地化によるロットの確保や地域商社を活用した物流・商流の一歩化などの取組みが求められている。																						
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 誘致企業や県外の農業参入を希望している大手企業のニーズ把握を行い、有望品目の産地化に取組むとともに、地域商社と連携した県外への流通形態の実証を行い、もうかる農業のビジネスモデルの構築を目指す。併せて、「麒麟のまち関西情報発信拠点」との連携によるマルシェや商談会の開催を通じて広域的なPR活動を行い、因幡圏域の農林水産物等の知名度アップを図る。																						
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・行政主体であった関西圏でのマルシェの民間委託の実施 (販路開拓コーディネーターによる営業の強化、商談会等の実施) ・6次産業化ネットワークシステム構築に係る農林漁業者の掘り起しとマッチングによる販路拡大 ・誘致企業や県外企業の実需ニーズに合った産地化のための生産体制の確立へ向けた取組み(ピフ、白ねぎ、イチゴ等)																						
前年度当初予算額 15,760	【事業の実績】 平成27年度 7,583千円 (政策提案:知名度アップ農産物販路開拓事業費含む) 平成28年度 6,493千円 平成29年度 15,760千円 (見込)																						
本年度要求額 14,794	行財政改革課処理欄																						
総務部長段階査定額 9,973	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	雑収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
雑収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額 9,973	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>2,462</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>7,511</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,973</td> </tr> </table>			区分	本年度予算額	国・県支出金	2,462	地方債	0	その他	0	一般財源	7,511	計	9,973								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	2,462																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	7,511																						
計	9,973																						

農016	項目名	次世代農業推進事業費	新規事業	○																				
予算書項目	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	243	所属名																				
年度	H30	農林水産部 農業振興課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234																							
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104																							
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農家の高齢化による担い手不足や耕作放棄地の増加など一次産業の衰退が懸念される中、情報通信技術等を活用したスマート農業等の普及による効率的で高収益につながる農業経営の実現が求められている。																							
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 新たな農業生産技術の確立や新技術導入の先進事例として、ブランド農産物である「らっきょう」の切り手不足の課題に対応した機械化の研究開発を行い、本市のブランド農産物の持続的振興を図る。																							
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 洗いらっきょう切り機研究開発委託																							
前年度当初予算額 0	行財政改革課処理欄																							
本年度要求額 18,087	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>				その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	雑収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
雑収入	0																							
その他	0																							
総務部長段階査定額 1,500	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>675</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>825</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,500</td> </tr> </table>				区分	本年度予算額	国・県支出金	675	地方債	0	その他	0	一般財源	825	計	1,500								
区分	本年度予算額																							
国・県支出金	675																							
地方債	0																							
その他	0																							
一般財源	825																							
計	1,500																							
市長段階査定額 1,500	行財政改革課処理欄																							

農017	項目名	もうかる6次化・農商工連携支援事業費	新規事業
予算書項目	もうかる6次化・農商工連携支援事業費	ページ	243
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農林水産物価格が低迷傾向にある中、農林漁業者の所得確保の手段のひとつとして6次産業化（農商工連携）の取組が有効と考えられている。しかし、農林漁業者の主体的な6次産業化への取組みには、新たな加工機械導入等の投資が必要なこともあり、6次化の取組みに対する支援の充実が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 農林漁業者自らが加工・製造、流通・販売までを主体的に取組む6次産業化や、農林水産業と商業・工業などが連携して商品製造等に取組む農商工連携を支援することにより、農林漁業者の所得向上と地域経済の活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 補助率 1/2（内訳：県1/3、市1/6） 鳥取地域新規1件 加工所整備に対する支援（農商連携） 福部地域新規1件 塩らっきょう加工所整備に対する支援		
前年度当初予算額	18,150	【事業の実績】 平成27年度 5,737千円 平成28年度 14,000千円 平成29年度 13,079千円（見込）	
本年度要求額	12,000		
総務部長段階査定額	7,000	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 補助率 1/2（内訳：県1/3、市1/6） 鳥取地域新規1件 加工所整備に対する支援（農商連携） 福部地域新規1件 塩らっきょう加工所整備に対する支援	
市長段階査定額	7,000	【事業の実績】 平成27年度 5,737千円 平成28年度 14,000千円 平成29年度 13,079千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 補助率 1/2（内訳：県1/3、市1/6） 鳥取地域新規1件 加工所整備に対する支援（農商連携） 福部地域新規1件 塩らっきょう加工所整備に対する支援	
財源内訳		【事業の実績】 平成27年度 5,737千円 平成28年度 14,000千円 平成29年度 13,079千円（見込）	
国・県支出金	5,716		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,284		
計	7,000		
行財政改革課処理欄			

農018	項目名	園芸産地活力増進事業費	新規事業
予算書項目	園芸産地活力増進事業費	ページ	243
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体制】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市農業における主要作物の更なる振興を図り、強い産地づくりを支援するため、県・市が連携し「園芸産地活力増進事業」を継続して推進してきた。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 本事業の活用を通じて、県・市・JA等関係機関の連携による10億円、1億円品目等の生産拡大の加速化を目指す。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 ①発展・成長タイプ (内容)JAが白ネギ、アスパラガス、らっきょう等の主力産地を維持、発展させるために緊急的に導入、普及する機械や簡易な施設の整備等に要する経費の一部を補助(対象者)JA(対象経費)機械整備、施設改良、パイプハウス整備等(補助率)1/2(県1/3、市1/6)		
前年度当初予算額	25,642	②中山間地域等特産物育成タイプ(一般) (内容)地域活性化を目指した取組みを支援(対象者)生産組合(2戸以上)、農業法人、市町村公社、JA、全農(対象経費)地域の特色を生かした園芸作物の試行的な取組み、気象変化に対応した強い産地作りに係る取組み、稲作農家の園芸品目の導入経費、担い手農家の育成経費(補助率)1/2(県1/3、市1/6)	
本年度要求額	12,800	【事業の実績】 平成27年度 16,250千円 平成28年度 4,118千円 平成29年度 2,279千円（見込）	
総務部長段階査定額	5,000		
市長段階査定額	5,000		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	3,332		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,668		
計	5,000		
行財政改革課処理欄			

農019	項目名	地域米販売拡大支援事業費	新規事業
予算書項目	地域米販売拡大支援事業費	ページ	243
年度	H30	所属名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 JA鳥取いなば管内の米は、少量であるため有利販売に繋がりにくく、若桜町や智頭町のように地域でまとまって出荷することで直販率を高め、管内の各地域毎に『特色のある米』として県外等への販売を推進していく必要がある。しかし、米の集荷・直販に必要な不可欠なライスセンター等は老朽化が激しく、施設・機械の故障も多いため、集荷、直販率も伸び悩んでいる。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 施設の再整備を行うことで、地域の特別栽培米等特色ある米や安心安全な米の集荷量の増量を目指す。また、地域の『冠米』として産地表示販売を行い、優良企業との高値取引や直販率のアップに繋げることにより生産農家の生産意欲や所得向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	10,000	(事業の内容)	
本年度要求額	9,833	平成30年度 豊実ライスセンター改修 事業費29,500千円×1/3補助率=9,833千円	
総務部長段階査定額	9,833	(事業の実績)	
市長段階査定額	9,833	平成26年度 8,766千円 (国府ライスセンター)	
区分	本年度予算額	平成27年度 3,066千円 (用瀬ライスセンター)	
国・県支出金	0	平成28年度 9,600千円 (河原ライスセンター)	
地方債	0	* その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金	
その他	9,833		
一般財源	0		
計	9,833		
行財政改革課処理欄			

農020	項目名	薬用作物等生産振興対策事業費	新規事業
予算書項目	薬用作物等生産振興対策事業費	ページ	243
年度	H30	所属名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 現在、漢方薬などの原料の薬用作物の多くは輸入によるものだが、農産物の価格の低迷や国の減反政策廃止をうけ、農家の新たな取組みとして薬用作物の国内生産体制の強化が叫ばれている。しかし、栽培には品目選定に向けての情報収集や試験栽培、未収穫期間の対応など、取組むには相応の投資が必要となる。このため、薬用作物栽培に対する支援の充実が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 生産組織などの農業者が、米に代わる作物として薬用作物の栽培に積極的に取組むことで、農家所得の向上と耕作放棄地の減少を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	791	(事業の内容)	
本年度要求額	3,090	事業実施主体が作成した実施計画に基づく薬用作物の栽培に必要なハード、ソフトに対して助成する。	
総務部長段階査定額	2,290	① 有望品目等選定・試作 : 10/10 (内訳: 県1/2、市1/2)	
市長段階査定額	2,290	② 栽培技術確立・普及 : 1/2 (内訳: 県1/3、市1/6)	
区分	本年度予算額	③ 加工技術確立・販路開拓: 1/2 (内訳: 県1/3、市1/6)	
国・県支出金	1,526	用瀬地域1件 桑苗木、資材等の購入に対する支援	
地方債	0	(事業の実績)	
その他	0	平成29年度 791千円 (見込)	
一般財源	764		
計	2,290		
行財政改革課処理欄			

農021	項目名	畜産振興対策事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	243
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 従来から畜産経営に対し支援を継続してきたが、近年も、子牛価格の高騰など経営維持に厳しい環境が続いており、引き続き畜産農家の経営力の強化につながる継続した施策が求められている。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 優良な牛を育てる農家に対し支援することで畜産振興を図るとともに、地域ブランド「因幡和牛」の知名度を上げ、一層の消費拡大を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①肉用牛放牧奨励事業(放牧料支援 補助率:市1/10) 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成。 ②肥育素牛安定導入対策事業(補助率:市1/6) JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成。 ③大規模農場支援事業 定額:50千円/頭(最長2か年:補助上限額25,000千円/対象者) TPP対策の一環として、酪農における収益性の向上を目的に取組まれているメガファーム整備に対し、国の補助対象とならない牛導入経費の一部を支援。(県がH28年度に実施した土地造成費1/2相当額を上限) (事業の実績) 平成27年度 2,033千円 平成28年度 1,888千円 平成29年度 17,631千円(見込)		
前年度当初予算額	17,631	総務部長段階査定額	11,459
本年度要求額	15,294	市長段階査定額	11,459
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	11,459	手数料	0
計	11,459	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農022	項目名	畜産環境等整備事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	243
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 これまで本市に養鶏場を持つ西日本ジェイエイ畜産においては、周辺に対する臭気対策として様々な対策が実施されてきた。 現在、施設外部への臭気漏洩や臭気自体の発生は大幅に低減され、地域においてもその取り組み自体は評価されているものの、気象条件や臭気測定時の作業内容等により、臭気指数等が基準値を上回るケースが稀にあり、継続的かつ効果的な臭気低減策の検討が求められる。 また、平成29年度に夜間臭気の原因究明のための調査を行っており、その結果も踏まえた対策が必要となる。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 新たに育雛舎間に細霧装置を設置し、外部への臭気や埃の拡散を抑制し臭気低減を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 臭気低減対策機器設備の導入(西日本ジェイエイ畜産) (事業の実績) 平成27年度 0千円 平成28年度 0千円 平成29年度 1,000千円(見込)		
前年度当初予算額	1,000	総務部長段階査定額	1,820
本年度要求額	7,820	市長段階査定額	1,820
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	1,820	手数料	0
計	1,820	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農023	項目名	和牛再生促進事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	243
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取和牛のブランド化を図るうえで高品質な肉質が求められているが、質を向上させるために必要な優秀な雌牛や肥育素牛の導入等が、市場価格の高騰により畜産経営の収益を圧迫しており、規模拡大に繋がりにくい状況にある。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 畜産を取り巻く経営環境改善のため、優良繁殖雌牛導入支援を行うことで将来的な生産者の畜産経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランド力向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	24,789	(事業の内容) 担い手の増頭に対する緊急支援(県・市)※平成27年度から施行 事業費: @1,011,000円×40頭=40,440,000円 補助率: 1/2 (県1/3、市1/6)	
本年度要求額	36,902	(事業の実績) 平成27年度 12,947千円 平成28年度 25,191千円 平成29年度 24,789千円(見込)	
総務部長段階査定額	20,220	【事業の内容・実績】	
市長段階査定額	20,220	(事業の内容) 担い手の増頭に対する緊急支援(県・市)※平成27年度から施行 事業費: @1,011,000円×40頭=40,440,000円 補助率: 1/2 (県1/3、市1/6)	
区分	本年度予算額	(事業の実績) 平成27年度 12,947千円 平成28年度 25,191千円 平成29年度 24,789千円(見込)	
財源内訳	国・県支出金 13,480	【事業の内容・実績】	
地方債 0	その他 0	(事業の内容) 担い手の増頭に対する緊急支援(県・市)※平成27年度から施行 事業費: @1,011,000円×40頭=40,440,000円 補助率: 1/2 (県1/3、市1/6)	
一般財源 6,740	計 20,220	(事業の実績) 平成27年度 12,947千円 平成28年度 25,191千円 平成29年度 24,789千円(見込)	
行財政改革課処理欄			

農024	項目名	農地集積等対策事業費	新規事業
予算書項目	地域農政推進対策事業費	ページ	245
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室担い手支援係 0857-20-3238		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成24年度より国の戸別所得補償経営安定推進事業を活用し、全地域の各集落を対象とした人・農地プランの作成を行い、農地集積等を強力に推進している。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 人・農地プランを活用し地域の合意形成を図りながら農地中間管理機構への農地の貸付、担い手への転賃を行うことで、地域の担い手への農地の利用調整を推進する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	43,606	(事業の内容) (1)人・農地問題解決加速化支援事業(国費、市費) 地域連携推進員活動費 2,302千円(嘱託職員1名分賃金)(市費) 市町村活動費 281千円(報償費)(国費1/2)	
本年度要求額	37,550	(2)農地集積・集約化対策事業費(国費) 機構集積協力金 25,200千円(集積に協力する面積50ha)	
総務部長段階査定額	37,550	(3)中間管理事業推進費 推進員活動費、消耗品費、役員費 2,498千円(嘱託職員1名分賃金、事務費)	
市長段階査定額	37,550	(4)農地情報更新等業務委託費 事務事業委託費 1,069千円(保守、データ更新)	
区分	本年度予算額	(5)農地流動化推進事業費補助金 補助金 5,000千円(5年以上の利用権設定を行った認定農業者へ補助)	
財源内訳	国・県支出金 27,540	(6)農業経営力向上支援事業 農業経営法人化等支援事業 1,200千円(2法人、2集落)	
地方債 0	その他 2,501	(事業の実績) 平成27年度 44,091千円 平成28年度 43,796千円 平成29年度 36,606千円(見込)	
一般財源 7,509	計 37,550	* その他財源の諸収入は、農地中間管理機構受託事業収入	
行財政改革課処理欄			

農025	項目名	農業振興団体活動支援事業費		新規事業
予算書項目	農業振興団体活動支援事業費	ページ	245	所 属 名
年度	H30	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室担い手支援係 0857-20-3238			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業における担い手不足や耕作放棄地増加等の問題に対応するため、担い手育成を目的とする団体及び担い手で構成される団体等の連携強化が求められている。			
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 本市農業を担う農業振興団体の交流・研修等の活動を支援し、農業経営の改善の促進と地域農業の振興を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額 533	(事業の内容)			
本年度要求額 558	鳥取市農業再生協議会活動事業 139千円			
総務部長段階査定額 453	県農業士活動支援事業 120千円			
市長段階査定額 453	認定農業者組織支援事業 194千円			
	(事業の実績)			
	平成27年度 522千円			
	平成28年度 369千円			
	平成29年度 453千円 (見込)			
	【事業の内容・実績】			
	(事業の内容)			
	鳥取市農業再生協議会活動事業 139千円			
	県農業士活動支援事業 120千円			
	認定農業者組織支援事業 194千円			
	(事業の実績)			
	平成27年度 522千円			
	平成28年度 369千円			
	平成29年度 453千円 (見込)			
行財政改革課処理欄				

農026	項目名	耕作放棄地再生推進事業費		新規事業
予算書項目	遊休農地解消支援事業費	ページ	245	所 属 名
年度	H30	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室担い手支援係 0857-20-3238			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 わが国の耕作放棄地は、農業者の減少や高齢化、過疎化の進行等により増加の一途にあり、食料自給力向上や多面的機能確保の面からもその解消が喫緊の課題となっている。			
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 耕作放棄地を再生利用する取組みやこれに附帯する施設等の整備等へ支援を行い、農業生産の基盤である農地の確保及びその有効利用を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額 0	(事業の内容)			
本年度要求額 1,064	鳥取市荒廃農地等利活用促進事業 1,064千円			
総務部長段階査定額 1,064	再生利用活動(草刈、抜根、耕うん、整地等)			
市長段階査定額 1,064	事業費 1,430千円			
	補助率 4/5			
	補助額 1,064千円(国・県895千円)			
	(事業の実績)			
	平成29年度 480千円(見込)			
行財政改革課処理欄				

農027	項目名	集落営農体制強化支援事業補助金	新規事業
予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	245
年度	H30	所属名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室担い手支援係 0857-20-3238		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 小規模農家が共同で営農を行う集落営農は、地域の水田農業を守る担い手組織として重要であり、組織化当初の経営安定を図るため、平成20年度より本事業による支援を継続している。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 集落営農組織が行う機械施設の整備などに支援を行い、継続的な地域の水田農業の維持を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	0	(事業の内容) 集落営農組織の作成した集落営農ビジョン実現のために必要な事業に対し助成する。 機械施設整備支援 補助率1/2(県 1/3、市 1/6) 1組織 補助対象事業費 4,759千円	
本年度要求額	5,659	(事業の実績) 平成27年度 2組織 4,251千円 平成28年度 2組織 4,061千円 平成29年度 1組織 2,684千円(見込)	
総務部長段階査定額	2,379	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,379	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	1,587		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	792		
計	2,379		
行財政改革課処理欄			

農028	項目名	企業等農業参入促進支援事業費補助金	新規事業
予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	245
年度	H30	所属名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室担い手支援係 0857-20-3238		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 地域農業の担い手不足の解消のため、意欲的な企業の農業参入による大規模生産の重要性が高まっており、企業参入の加速化のため、参入初期段階での機械等の整備に対する支援が求められている。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 農業経営の初期段階にある企業等に対し機械・施設の整備等を支援し、意欲的な企業等の参入促進による農業振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	3,900	(事業の内容) ビニールハウス等の農業用機械施設整備の支援 事業費 7,500千円 補助率 1/3 補助金 2,500千円(県10/10)	
本年度要求額	5,000	(事業の実績) 平成27年度 9,856千円 2社 平成28年度 9,503千円 2社 平成29年度 1,700千円 1社(見込)	
総務部長段階査定額	2,500	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,500	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	2,500		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	2,500		
行財政改革課処理欄			

農029	項目名	鳥取市大規模飼料作経営安定化基金事業費		新規事業
予算書項目	湖山池汽水湖化に対応した大規模飼料作経営安定化推進事業費	ページ	245	所 属 名
年度	H30	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232 (債)			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 湖山池の水質浄化に向けた取組みとして、平成24年3月から塩分導入が開始されたことに伴い、将来的に湖山池周辺での農業・農地を維持していくための取組みとして、湖山池の水を利用しない飼料用作物の導入が行われることとなった。			
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 県との共同出資による基金を設置し、湖山池周辺の集落営農組織が行う大規模飼料作の取組み等を支援することにより、経営の安定化による農業・農地の維持に寄与する。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) (1) 積立額 5,780千円 (県1/2・市1/2) ※平成28年度末時点残高 (2) 基金管理 鳥取市 (3) 対象事業 (集落営農組織担い手育成事業) 機械操作技術習得に係る研修等に要する経費を助成 (立地条件に適応した飼料栽培技術確立支援事業) 営農組織と機械作業受託組織が連携した大規模飼料作経営の安定化に向けた取組み等を助成 (事業の実績) 平成27年度 2,951千円 平成28年度 3,460千円 平成29年度 2,493千円 (見込)			
前年度当初予算額	62	* その他財源の財産収入は、鳥取市大規模飼料作経営安定化基金積立金利子 その他財源の繰入金は、大規模飼料作経営安定化基金繰入金		
本年度要求額	1,657			
総務部長段階査定額	1,657	【事業の内容・実績】 (事業の内容) (1) 積立額 5,780千円 (県1/2・市1/2) ※平成28年度末時点残高 (2) 基金管理 鳥取市 (3) 対象事業 (集落営農組織担い手育成事業) 機械操作技術習得に係る研修等に要する経費を助成 (立地条件に適応した飼料栽培技術確立支援事業) 営農組織と機械作業受託組織が連携した大規模飼料作経営の安定化に向けた取組み等を助成 (事業の実績) 平成27年度 2,951千円 平成28年度 3,460千円 平成29年度 2,493千円 (見込)		
市長段階査定額	1,657	* その他財源の財産収入は、鳥取市大規模飼料作経営安定化基金積立金利子 その他財源の繰入金は、大規模飼料作経営安定化基金繰入金		
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (事業の内容) (1) 積立額 5,780千円 (県1/2・市1/2) ※平成28年度末時点残高 (2) 基金管理 鳥取市 (3) 対象事業 (集落営農組織担い手育成事業) 機械操作技術習得に係る研修等に要する経費を助成 (立地条件に適応した飼料栽培技術確立支援事業) 営農組織と機械作業受託組織が連携した大規模飼料作経営の安定化に向けた取組み等を助成 (事業の実績) 平成27年度 2,951千円 平成28年度 3,460千円 平成29年度 2,493千円 (見込)		
財源内訳		* その他財源の財産収入は、鳥取市大規模飼料作経営安定化基金積立金利子 その他財源の繰入金は、大規模飼料作経営安定化基金繰入金		
国・県支出金	0	【事業の内容・実績】 (事業の内容) (1) 積立額 5,780千円 (県1/2・市1/2) ※平成28年度末時点残高 (2) 基金管理 鳥取市 (3) 対象事業 (集落営農組織担い手育成事業) 機械操作技術習得に係る研修等に要する経費を助成 (立地条件に適応した飼料栽培技術確立支援事業) 営農組織と機械作業受託組織が連携した大規模飼料作経営の安定化に向けた取組み等を助成 (事業の実績) 平成27年度 2,951千円 平成28年度 3,460千円 平成29年度 2,493千円 (見込)		
地方債	0	* その他財源の財産収入は、鳥取市大規模飼料作経営安定化基金積立金利子 その他財源の繰入金は、大規模飼料作経営安定化基金繰入金		
その他	1,657	【事業の内容・実績】 (事業の内容) (1) 積立額 5,780千円 (県1/2・市1/2) ※平成28年度末時点残高 (2) 基金管理 鳥取市 (3) 対象事業 (集落営農組織担い手育成事業) 機械操作技術習得に係る研修等に要する経費を助成 (立地条件に適応した飼料栽培技術確立支援事業) 営農組織と機械作業受託組織が連携した大規模飼料作経営の安定化に向けた取組み等を助成 (事業の実績) 平成27年度 2,951千円 平成28年度 3,460千円 平成29年度 2,493千円 (見込)		
一般財源	0	* その他財源の財産収入は、鳥取市大規模飼料作経営安定化基金積立金利子 その他財源の繰入金は、大規模飼料作経営安定化基金繰入金		
計	1,657	【事業の内容・実績】 (事業の内容) (1) 積立額 5,780千円 (県1/2・市1/2) ※平成28年度末時点残高 (2) 基金管理 鳥取市 (3) 対象事業 (集落営農組織担い手育成事業) 機械操作技術習得に係る研修等に要する経費を助成 (立地条件に適応した飼料栽培技術確立支援事業) 営農組織と機械作業受託組織が連携した大規模飼料作経営の安定化に向けた取組み等を助成 (事業の実績) 平成27年度 2,951千円 平成28年度 3,460千円 平成29年度 2,493千円 (見込)		
行財政改革課処理欄				

農030	項目名	湖山池周辺農地営農支援対策事業費		新規事業	○
予算書項目	湖山池汽水湖化に対応した大規模飼料作経営安定化推進事業費	ページ	245	所 属 名	
年度	H30	農林水産部 農業振興課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問い合わせ】農政係 0857-20-3232				
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104				
項 農業費	【事業の経過及び背景】 湖山池の水質浄化のための塩分導入開始に伴い、将来的に湖山池周辺での農業・農地を維持していくための取組みとして、湖山池の水を利用しない飼料作物(牧草)の導入が行われている。				
目 農業構造改善事業費	しかし、国の交付金(産地交付金等)の減少や、病害虫等による食害の発生等により、経営の悪化が危惧されている。				
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】 飼料作に要する経費のうち、国の交付金【経営安定対策(水田活用の直接支払交付金及び産地交付金)】の減額分を補てんする。また、営農経費の一部及び病害虫等の防除費用を助成することにより、経営の安定化に寄与する。				
前年度当初予算額	0	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
本年度要求額	1,000	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
総務部長段階査定額	1,000	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
市長段階査定額	1,000	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
財源内訳		【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
国・県支出金	500	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
地方債	0	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
その他	0	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
一般財源	500	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
計	1,000	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 1 地元営農組合経費 営農に係る組合の労賃等に要する経費を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 270千円(県1/2、市1/2) (3) 事業実施期間 平成30年4月～平成31年3月 2 牧草防除費用 病害虫等の防除費用を助成 (1) 事業主体 各地区営農組合(湖山町瀬・西桂見・三津) (2) 事業費 730千円(県1/2、市1/2) (3) 防除想定面積 13ha(瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha)			
行財政改革課処理欄					

農031	項目名	野生鳥獣被害防止事業費		新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費		ページ	247
年度	H30		所属名 農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある。また、有害鳥獣の駆除を委託している狩猟免許所持者が高齢化等により減少している。			
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 イノシシ等の被害防止対策に必要な補助金を交付することにより、農林業者が安心して農林業の生産活動を行うことができ、もって本市農林業の振興を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額 68,231	(事業の内容)			
本年度要求額 58,937	①有害鳥獣駆除実施事業 銃器、わな等によるイノシシ、カラス等の有害鳥獣駆除 負担割合: 県1/3、市2/3			
総務部長段階査定額 55,937	②侵入防止施設整備事業 ワイヤメッシュ・電気柵等による侵入防止柵整備 負担割合: 農家 県1/3、市1/3 (地元1/3) 非農家 市1/2 (地元1/2)			
市長段階査定額 55,937	③イノシシ等捕獲奨励金 有害鳥獣の捕獲奨励金 負担割合: 県1/2、市1/2			
区分 本年度予算額	④免許取得促進事業 狩猟免許の取得促進 負担割合: 県1/3、市2/3			
国・県支出金 25,703	⑤鳥取市鳥獣害対策協議会 支援事業 侵入防止柵、捕獲器具の整備 (捕獲器具101基) 負担割合 国1/2、市1/3 (地元1/6)			
地方債 0	(事業の実績)			
その他 0	平成27年度 55,974千円			
一般財源 30,234	平成28年度 63,308千円			
計 55,937	平成29年度 55,311千円 (見込)			
行財政改革課処理欄				

農032	項目名	射撃場管理運営費		新規事業
予算書項目	射撃場管理運営費		ページ	247
年度	H30		所属名 農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 平成20年4月から射撃場は休場となっており、銃猟者の減少も顕著となっていることから、再整備を行い、平成28年度より利用再開した。			
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 野生鳥獣の捕獲には散弾銃等を使用できる銃猟者の協力が不可欠である。適正な射撃場の運営を実施し、銃猟者の育成・確保による捕獲を強化することにより、農作物被害の軽減を図る。また、鉛弾処理を行い、周辺住民の生活の安全を確保する。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額 8,704	(事業の内容)			
本年度要求額 12,774	鳥取クレー射撃場の運営管理			
総務部長段階査定額 12,774	(事業の実績)			
市長段階査定額 12,774	平成27年度 射撃場再整備 (整備面積11,240㎡、トラップ射場1面、 スキート射場1面、鉛弾飛散防止ネット、管理棟1棟)			
区分 本年度予算額	平成28年度 開場期間 9/15~10/31 (28日開場)			
国・県支出金 0	延利用人数 249名			
地方債 0	運営費 9,211千円			
その他 5,133	平成29年度 開場期間 4/1~10/31 (108日開場)			
一般財源 7,641	延利用人数 577名			
計 12,774	運営費 8,796千円 (見込)			
行財政改革課処理欄	* 其他財源の負担金は、射撃場整備事業費4町 (岩美町、八頭町、智頭町、若桜町) 負担金 其他財源の使用料は、鳥取クレー射撃場使用料			

農033	項目名	市行造林維持管理費		新規 事業
予算書項目	市行造林維持管理費		ページ	247
年度	H30		所 属 名	
			農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 森林経営計画の策定により、市行造林や市有林について、国県の有利な財源を活用した適正な森林整備が可能となった。			
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林経営計画に沿って、市行造林・市有林の保育、間伐材生産等の適正な森林整備を行い、林産物の供給、水源の涵養、山地災害の防止等の多面的機能の発揮を促し、市民が安全に安心して暮らせる社会の実現を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 市行造林の枝打ち・間伐を実施する。 (事業の実績) 平成27年度 11,009千円(間伐 5.10ha) 平成28年度 24,705千円(間伐 11.46ha) 平成29年度 23,800千円(見込)			
前年度当初予算額	25,448	* その他財源の財産収入は、立木売払収入		
本年度要求額	21,637			
総務部長段階査定額	21,637	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 市行造林の枝打ち・間伐を実施する。 (事業の実績) 平成27年度 11,009千円(間伐 5.10ha) 平成28年度 24,705千円(間伐 11.46ha) 平成29年度 23,800千円(見込)		
市長段階査定額	21,637	* その他財源の財産収入は、立木売払収入		
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 市行造林の枝打ち・間伐を実施する。 (事業の実績) 平成27年度 11,009千円(間伐 5.10ha) 平成28年度 24,705千円(間伐 11.46ha) 平成29年度 23,800千円(見込)		
財源内訳		* その他財源の財産収入は、立木売払収入		
国・県支出金	13,366			
地方債	0			
その他	6,864			
一般財源	1,407			
計	21,637			
行財政改革課処理欄				

農034	項目名	森林病虫害防除事業費		新規 事業
予算書項目	森林病虫害防除事業費		ページ	247
年度	H30		所 属 名	
			農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 本市でも、海からの風や潮、津波や高波、飛んでくる砂等から海沿いの暮らしを守るためにつくられた海岸林等において松くい虫被害が発生しており、公益的機能が維持できない恐れがある。			
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林は、木材等林産物の供給を始め、水源かん養などの公益的機能の発揮により、国土の保全、自然環境の保全・形成等を通じて、生活の向上及び経済の発展に大きく寄与している。これら森林の持つ公益的機能を高度に発揮するため、森林病虫害を早期に駆除し、そのまん延を防止する。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 松くい虫対策(地上散布37ha、樹幹注入709本(福部)、樹幹注入67本(青島)) 特別伐倒駆除15m3、養蜂移転112基(地上散布)) 枯松・ニセアカシア伐倒50m3 (事業の実績) 平成27年度 12,612千円 空中散布47ha、地上散布32ha、伐倒駆除9m3 樹幹注入360本 ほか 平成28年度 10,348千円 空中散布47ha、地上散布32ha、樹幹注入121本 ほか 平成29年度 12,940千円 地上散布37ha、樹幹注入704本 ほか(見込)			
前年度当初予算額	15,601			
本年度要求額	12,136			
総務部長段階査定額	12,136	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 松くい虫対策(地上散布37ha、樹幹注入709本(福部)、樹幹注入67本(青島)) 特別伐倒駆除15m3、養蜂移転112基(地上散布)) 枯松・ニセアカシア伐倒50m3 (事業の実績) 平成27年度 12,612千円 空中散布47ha、地上散布32ha、伐倒駆除9m3 樹幹注入360本 ほか 平成28年度 10,348千円 空中散布47ha、地上散布32ha、樹幹注入121本 ほか 平成29年度 12,940千円 地上散布37ha、樹幹注入704本 ほか(見込)		
市長段階査定額	12,136	* その他財源の財産収入は、立木売払収入		
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 松くい虫対策(地上散布37ha、樹幹注入709本(福部)、樹幹注入67本(青島)) 特別伐倒駆除15m3、養蜂移転112基(地上散布)) 枯松・ニセアカシア伐倒50m3 (事業の実績) 平成27年度 12,612千円 空中散布47ha、地上散布32ha、伐倒駆除9m3 樹幹注入360本 ほか 平成28年度 10,348千円 空中散布47ha、地上散布32ha、樹幹注入121本 ほか 平成29年度 12,940千円 地上散布37ha、樹幹注入704本 ほか(見込)		
財源内訳		* その他財源の財産収入は、立木売払収入		
国・県支出金	10,186			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	1,950			
計	12,136			
行財政改革課処理欄				

農035	項目名	林業労働者福祉向上推進事業負担金	新規事業
予算書項目	林業労働者福祉向上推進事業費	ページ	247
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、林業の発展に資することを目的として林業労働者に対する共済事業を行うため、鳥取県林業担い手育成財団が設立され、鳥取県、市町村が助成をしながら林業労働者の共済事業を行っている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため（公財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業（林業労働者の共済年金掛金の一部助成）に要する経費を助成する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績（過去3年）】		
前年度当初予算額	1,515	(事業の内容)	
本年度要求額	1,475	事業主体 (公財) 鳥取県林業担い手育成財団	
総務部長段階査定額	1,475	事業費 1,475千円	
市長段階査定額	1,475	負担区分 市町村 4/10 (県 4/10) (林業団体等 2/10)	
区分	本年度予算額	(事業の実績)	
国・県支出金	0	平成27年度 1,254千円	
地方債	0	平成28年度 1,253千円	
その他	0	平成29年度 1,515千円（見込み）	
一般財源	1,475		
計	1,475		
行財政改革課処理欄			

農036	項目名	林業労働者雇用条件改善事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	247
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 林業労働者の高齢化により、担い手不足が進んでいる。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 林業事業者が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	6,016	(事業の内容)	
本年度要求額	7,411	健康保険・農林年金に係る負担補助	
総務部長段階査定額	6,594	(事業主体) 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、 智頭町森林組合、ウズマン株式会社ほか	
市長段階査定額	6,594	補助対象者 30人	
区分	本年度予算額	補助対象事業費 13,187千円	
国・県支出金	3,297	補助率 県 1/4 (3,297千円)	
地方債	0	市 1/4 (3,297千円)	
その他	0	(事業主体 1/2)	
一般財源	3,297	(事業の実績 ※市負担分)	
計	6,594	平成27年度 5,503千円 29人	
		平成28年度 5,333千円 29人	
		平成29年度 7,069千円 34人（見込）	
行財政改革課処理欄			

農037	項目名	林業新規就業者支援対策事業費		新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	247	所 属 名
年度	H30	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】			
目 林業総務費	森林資源が充実し、間伐や主伐・再造林等の事業量の増大が見込まれる中、若者を中心とする新規就業者の確保及び育成が喫緊の課題となっている。新規就業者を一人前の現場技能者として育成するには少なくとも5年程度必要とされているが、育成に係る費用は事業体にとっては負担が大きいため、研修等に要する経費を新規就業者に求めることも多く、新規採用が抑制される要因の1つとなっている。			
(単位:千円)	【事業の目的および効果】			
前年度当初予算額	700	意欲ある林業就業者が負担なく研修を行うため、国が実施する「緑の雇用」事業による研修に必要な道具や装備の購入にかかる費用の助成に嵩上げをすることで、林業事業体が採用する新規就業者を増加させ、本市の林業振興を図る。		
本年度要求額	700	【事業の内容・実績】		
総務部長段階査定額	420	(事業内容)		
市長段階査定額	420	国の「緑の雇用」事業によるフォレストワーカー研修1年目の研修生に対し、道具や装備の購入にかかる費用を嵩上げ助成する。		
区分	本年度予算額	補助率 2/3		
国・県支出金	0	研修準備費(道具購入費) 50,000円(上限)×6名分 300,000円		
地方債	0	資材費(装備購入費) 20,000円(上限)×6名分 120,000円		
その他	0	(事業実績)		
一般財源	420	平成29年度 260千円 5名分		
計	420			
行財政改革課処理欄				

農038	項目名	森林・山村多面的機能発揮対策事業費		新規事業
予算書項目	森林・山村多面的機能発揮対策事業費	ページ	247	所 属 名
年度	H30	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】			
目 林業総務費	森林の有する多面的機能の発揮には、適切な森林整備や計画的な森林整備の利用が不可欠だが、林業の不振、山村地域の過疎化・高齢化により森林の手入れを行う地域住民が減少し、適切な森林整備等が行われていない箇所が見られる。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	824	地域住民、森林所有者、自伐林家等が協力して実施する里山林の保全、森林資源の活用、森林環境教育・研修活動などの取組を支援する。		
本年度要求額	517	【事業の内容・実績】		
総務部長段階査定額	470	(事業費)		
市長段階査定額	470	平成29年度(見込)		
区分	本年度予算額	平成30年度(見積)		
国・県支出金	0	・地域環境保全(里山林) 270,400円		
地方債	0	・地域環境保全(竹林) 836,000円		
その他	0	・森林資源利用 1,840,000円		
一般財源	470	・教育・研修活動 810,600円		
計	470	・森林機能強化 計 3,757,000円		
行財政改革課処理欄				

農039	項目名	林道維持管理事業費	新規事業
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	249
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 林道の安全を確保するため、除草、修繕、舗装及び定期的な巡視等の維持管理が必要となっている。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 林道の適正な維持管理を行うことで林道の安全を確保する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 林道の除草、修繕、舗装及び定期的な巡視等の維持管理 (事業の実績) 平成27年度 10,821千円 平成28年度 7,202千円 平成29年度 11,600千円(見込)		
前年度当初予算額 12,615	* その他財源の使用料は、電柱使用料		
本年度要求額 13,449			
総務部長段階査定額 13,134	その他財源の内訳		
市長段階査定額 13,134	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	49	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	雑収入	0	
	その他	0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	2,544	
	地方債	0	
	その他	49	
	一般財源	10,541	
	計	13,134	
行財政改革課処理欄			

農040	項目名	林道改良事業費	新規事業
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	249
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 効率的な森林施業の促進を図るため、森林所有者から林業機械の利用に対応することができる林道の改良が要望されている。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 林業機械での施業に対応するため林道の改良・舗装を行い、安全な交通を確保し、効率的な森林施業の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ○林道高路岩坪線拡幅改良(改良L=200m、舗装L=410m) 工事費 25,000千円(改良17,737千円、舗装7,263千円) ○林道中山線法面改良(L=347m) 工事費 33,500千円 ○林道山葵谷線の舗装(L=310m) 工事費 5,000千円 (事業の実績)		
前年度当初予算額 50,400	林道高路岩坪線	林道福地荒舟線	林道山葵谷線
本年度要求額 69,027	平成27年度 9,562千円	16,527千円	957千円
総務部長段階査定額 69,027	平成28年度 21,431千円	7,134千円	886千円
市長段階査定額 69,027	平成29年度 26,980千円(見込)		4,590千円(見込)
	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	雑収入	0	
	その他	0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	25,475	
	地方債	41,200	
	その他	0	
	一般財源	2,352	
	計	69,027	
行財政改革課処理欄			

農043	項目名	竹林整備事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	249
年度	H30	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 放置竹林の拡大により周辺の森林を圧迫し森林の多面的機能が低下している。		
目 林業振興費	【事業の背景・目的】 拡大する荒廃竹林対策として、竹林の抜き伐りによる竹林整備に取り組む。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	25,548	(事業の内容)	
本年度要求額	28,097	抜き伐り 事業費 27,105千円 6.08ha	
総務部長段階査定額	23,035	県補助金 21,680千円	
市長段階査定額	23,035	市補助金 1,355千円	
区分	本年度予算額	(事業の実績)	
国・県支出金	21,680	平成27年度 23,438千円 5.31ha (抜き伐り)	
地方債	0	平成28年度 17,981千円 4.71ha (抜き伐り)	
その他	0	平成29年度 19,184千円 5.98ha (抜き伐り) (見込)	
一般財源	1,355		
計	23,035		
行財政改革課処理欄			

農044	項目名	単県斜面崩壊復旧事業費	新規事業
予算書項目	治山事業費	ページ	249
年度	H30	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国庫補助事業(治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業)及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において復旧事業を行い公共施設、人家等を保全する。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 大雨等により崩落した山腹を復旧し、家屋等への被害を防止する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	9,080	(事業の内容)	
本年度要求額	12,000	単県斜面崩壊復旧工事(鳥取市青谷町)	
総務部長段階査定額	12,000	青谷町河原地内 事業費 12,000千円	
市長段階査定額	12,000	(事業の実績)	
区分	本年度予算額	平成27年度 14,799千円	
国・県支出金	5,400	平成28年度 16,030千円	
地方債	0	平成29年度 11,746千円 (見込)	
その他	1,200		
一般財源	5,400		
計	12,000		
行財政改革課処理欄			

農045	項目名	森林整備地域活動支援交付金交付事業費		新規事業
予算書項目	森林整備地域活動支援推進事業費	ページ	249	所 属 名
年度	H30	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林整備地域活動支援交付金を交付し、「森林経営計画作成促進」、「施策集約化の促進」、「森林経営計画・施策集約化に向けた条件整備」、「森林境界の明確化」などの地域における活動の確保を図る。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 適切な森林整備の推進を通じて森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から森林所有者等による施策の実施に不可欠な地域活動を支援する。			
(単位:千円)	【事業内容・実績】 (事業内容) ・森林経営計画作成促進 事業費 50ha×38千円=1,900千円(国・県負担 3/4) 750ha×8千円=6,000千円(国・県負担 3/4) 県支出金 7,900千円×3/4=5,925千円 ・施策集約化の促進 事業費 36.7ha×15千円=551千円(国・県全額負担) 県支出金 551千円 事業費合計 8,451千円 県支出金合計 6,476千円 (事業実績) 平成27年度 16,120千円 平成28年度 7,434千円 平成29年度 9,571千円(見込)			
前年度当初予算額	14,900	分担金 0		
本年度要求額	14,451	負担金 0		
総務部長段階査定額	8,451	使用料 0		
市長段階査定額	8,451	手数料 0		
区分	本年度予算額	財産収入 0		
財源内訳	国・県支出金 6,476	寄付金 0		
	地方債 0	繰入金 0		
	その他 0	雑収入 0		
	一般財源 1,975	その他 0		
	計 8,451			
行財政改革課処理欄				

農046	項目名	森づくり作業道整備事業費		新規事業
予算書項目	森づくり作業道整備事業費	ページ	249	所 属 名
年度	H30	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国県からの作業道補助事業のみでは受益者の負担が大きく、作業道の整備が進まず、その対策が必要となっている。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、国県補助に嵩上げ支援を行い、作業道の整備を促進する。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 造林作業道整備の補助金(条件付きで普通林17%、保安林5%を上乗せ) ※国、県の補助と合わせると、補助率85% 作業道整備(普通林) 26,000m 作業道整備(保安林) 22,500m 合計 48,500m (事業の実績) 平成27年度 10,351千円(74路線 46,717m) 平成28年度 8,684千円(85路線 39,219m) 平成29年度 7,349千円(見込)			
前年度当初予算額	12,568	分担金 0		
本年度要求額	17,040	負担金 0		
総務部長段階査定額	11,090	使用料 0		
市長段階査定額	11,090	手数料 0		
区分	本年度予算額	財産収入 0		
財源内訳	国・県支出金 0	寄付金 0		
	地方債 0	繰入金 0		
	その他 0	雑収入 0		
	一般財源 11,090	その他 0		
	計 11,090			
行財政改革課処理欄				

農047	項目名	県営林道整備事業費	新規事業
予算書項目	県営林道整備事業費	ページ	249
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 県営事業で、森林基幹道である林道桑原河内線及び籠山線の築造・舗装・法面工事を実施している。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 整備の促進を図るため、県営で施行する森林基幹道開設事業に係る事業費を負担する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 桑原河内線(青谷町小畑)開設工 4,500千円(事業費 60,000千円) 籠山線(山口) 舗装工 6,250千円(事業費 25,000千円) (事業の実績) 平成27年度 4,562千円 平成28年度 3,141千円 平成29年度 10,225千円(見込)		
前年度当初予算額	11,650		
本年度要求額	11,650		
総務部長段階査定額	10,750	その他財源の内訳	
市長段階査定額	10,750	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	10,700		
その他	0		
一般財源	50		
計	10,750		
行財政改革課処理欄			

農048	項目名	林産物振興対策事業費	新規事業
予算書項目	林産物振興対策事業費	ページ	249
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経緯及び背景】 本市の特産品である椎茸の生産量は年々減少傾向にあるため、椎茸の生産、出荷、販売を促進する必要がある。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の特産品である椎茸の生産、出荷及び販売を促進することで、消費拡大及び生産者の意欲向上を図り、椎茸の生産振興を目的とする。また、新規参入者に対し支援を行うことで、椎茸産地としての持続的な発展を目指す。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①椎茸の種菌の購入を行う際の当該購入に要する経費を助成 補助率 新規生産者:1/4以内、既存生産者:1/5以内 ◎1,005千円 ②椎茸のイベント開催やパンフレット作成等による販売促進に要する経費を助成 補助率 1/3以内 ◎200千円 ③新規参入者が業者から原木を購入する場合、購入に要する経費を助成 補助率 1/3以内 ◎100千円 ④施設整備に要する経費を助成 補助率 1/6以内(県補助金1/3との合計補助率1/2) ◎172千円 (事業の実績) 平成27年度 740千円 平成28年度 410千円 平成29年度 2,472千円(見込)		
前年度当初予算額	2,472		
本年度要求額	1,477		
総務部長段階査定額	1,477	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,477	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,477		
計	1,477		
行財政改革課処理欄			

農049	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	林産物振興対策事業費	ページ	249
年度	H30	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 鳥取県内原木しいたけ生産者は高齢化が進み、生産者数は、昭和59年の1,399人から、平成27年は280人と大きく減少している。 現在、鳥取県下で「鳥取茸王」のブランド化が推進されており、原木しいたけの生産振興は重要な取り組みとなっている。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 原木しいたけ生産者が減少する中、鳥取ブランド「鳥取茸王」を生産する新規生産者の増加を目指し、地域おこし協力隊により都市住民を受け入れ、青谷町において原木しいたけの生産に従事し、地域に定着することで、原木しいたけ生産の振興を図る。		
(単位:千円)	【事業内容・実績】 ・地域おこし協力隊員(1名)青谷地域に配置 3年間で原木しいたけ栽培技術の習得向上を図るとともに、期間満了後は地域に定住しながら鳥取茸王のブランド化に取り組む。 ・事業期間 平成29年度～平成31年度(3年間)		
前年度当初予算額	0	分担金	0
本年度要求額	4,513	負担金	0
総務部長段階査定額	4,113	使用料	0
市長段階査定額	4,113	手数料	0
区分	本年度予算額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	0	繰入金	0
地方債	0	雑収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	4,113		
計	4,113		
行財政改革課処理欄			

農050	項目名	クスギ原木林緊急造成事業費	新規事業
予算書項目	林産物振興対策事業費	ページ	249
年度	H30	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経緯及び背景】 本市の特産品である椎茸の生産量は年々減少傾向にあるが、原木しいたけのブランド化を加速するためには、クスギ原木林の造成を緊急的に行いながら、生産基盤であるしいたけ原木の安定的な確保を図ることが急務となっている。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 将来の原木しいたけ生産の安定化とブランド化を推進していくため、耕作が放棄されている果樹園跡地等を対象に、鉄線・棚の撤去を支援することにより、緊急的にクスギ原木林の造成を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 果樹園跡地の鉄線・棚の撤去に要する経費を助成 補助率 9/10以内(県4.5/10、市4.5/10) 事業量 100a 事業費 1,760千円 補助金 1,584千円 (事業の実績) 平成29年度 54.46a 959千円		
前年度当初予算額	4,752	分担金	0
本年度要求額	3,168	負担金	0
総務部長段階査定額	1,584	使用料	0
市長段階査定額	1,584	手数料	0
区分	本年度予算額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	792	繰入金	0
地方債	0	雑収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	792		
計	1,584		
行財政改革課処理欄			

農051	項目名	水産資源維持増殖事業費	新規事業
予算書項目	水産資源維持増殖事業費	ページ	251
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	一般会計	事業の概要	
款	農林水産業費	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236	
項	水産業費	【10次総の施策体系】2104	
目	水産業振興費	【事業の経過及び背景】 千代川・湖山池は市民にとって身近な水辺空間であるとともに、内水面漁業の漁場であり、それらの機能維持を図るため、内水面漁業協同組合が行う放流に要する経費を助成してきた。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】 水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川・湖山池流域の地域振興やレクリエーション機会の増大に寄与する。	
前年度当初予算額	12,332	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 概要 鮎等の内水面水産資源の維持増殖を図る放流事業に対し助成する。	
本年度要求額	12,900	実施主体 千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市	
総務部長段階査定額	12,900	事業費 千代川流域 12,470千円 (市6,435千円、水道局6,035千円)	
市長段階査定額	12,900	30千円 市施行 (市15千円、魚の豊かな川づくり基金15千円)	
区分	本年度予算額	湖山池流域 400千円	
国・県支出金	0	(事業の実績)	
地方債	0	○千代川流域 事業費 鮎放流量	
その他	6,050	平成27年度 11,632千円 3.57t	
一般財源	6,850	平成28年度 11,482千円 3.57t	
計	12,900	平成29年度 11,504千円 (見込) 3.57t	
		○湖山池流域 事業費 ウナギ等 アマサギ(卵)	
		平成27年度 439千円 292kg 200万粒	
		平成28年度 233千円 30kg 50万粒	
		平成29年度 0千円 (見込) 0kg 0万粒	
行財政改革課処理欄		* その他財源の諸収入は、水道局負担金及び魚の豊かな川づくり基金助成金	

農052	項目名	鳥取かにフェスタ開催事業費補助金	新規事業
予算書項目	鳥取かにフェスタ開催事業費	ページ	251
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	一般会計	事業の概要	
款	農林水産業費	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236	
項	水産業費	【10次総の施策体系】2104	
目	水産業振興費	【事業の経過及び背景】 市民はもとより県内外の方々に賀露西浜地区の水産業を柱とする地域開発及び水産業の発展等をアピールするため、平成12年より「鳥取かにフェスタ」が開催されている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】 松葉がにの産地としての鳥取市を情報発信し、併せて地元水産業の振興を図る。 賀露地域における松葉がにを県内外にPRすることで認知度を高め、消費拡大や魚価向上に努める。	
前年度当初予算額	720	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 概要 「鳥取かにフェスタ」開催事業費補助金	
本年度要求額	720	事業主体 鳥取かにフェスタ実行委員会	
総務部長段階査定額	600	開催予定時期 平成30年11月	
市長段階査定額	600	(事業の実績)	
区分	本年度予算額	事業費 来場者数	
国・県支出金	0	平成27年度 720千円 15千人	
地方債	0	平成28年度 720千円 20千人	
その他	0	平成29年度 720千円 20千人	
一般財源	600		
計	600		
行財政改革課処理欄			

農053	項目名	省エネ漁業推進事業費	新規事業
予算書項目	省エネ漁業推進事業費	ページ	251
年度	H30	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 魚価低迷、燃油・資材高騰等漁業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況であることから、自立的・安定的な漁業経営のための対策が求められている。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁業者の漁業経営改善への意識を高めるとともに、経費削減により、安定した漁業就業に寄与し、本市水産業の維持・発展を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業内容) 概要 経営改善に積極的かつ計画的に取り組む漁業者に対し、省エネ等経費の削減に資する機器の購入経費等へ助成		
前年度当初予算額	839	事業主体	以下の条件のいずれかを満足する20t未満の漁船漁業者 Ⅰ. 年齢が65歳以下のもの Ⅱ. 年齢が70歳以下で、過去3年間に平均90日以上の出漁実績があるもの
本年度要求額	1,217	事業費	機関換装及び漁具等 7,300,000円×1/6=1,216,666円
総務部長段階査定額	1,217	(事業の実績)	平成27年度 2,347千円 (機関換装3名 LED2隻) 平成28年度 2,803千円 (機関換装4名 漁具等3名) 平成29年度 2,187千円 (機関換装1名、漁具等7名) (見込)
市長段階査定額	1,217	その他財源の内訳	
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	1,217	寄付金	0
計	1,217	繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農054	項目名	沖合底びき網漁業生産体制存続事業費	新規事業
予算書項目	沖合底びき網漁業生産体制存続事業費	ページ	251
年度	H30	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 沖合底びき網漁業は、本市特産品「松葉がに」「ハタハタ」等を漁獲し、県東部地域の経済及び観光において重要な漁業である。しかし、漁船購入等の初期投資は極めて高額であり、また、維持管理費も高額であることに加え、乗組員等の不足、魚価の低迷等の理由で経営体は減少傾向であり、このままでは沖合底びき網漁業の存続が危惧されている。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲ある漁業者に対して漁船リース事業を推進する事により、本市の漁獲高の大半を占める沖合底びき網漁業の衰退を防止し、本市の漁業振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 概要 リース料の付加料部分(固定資産税、登録免許税、支払利息、保証料)を国、県、市で補助する。		
前年度当初予算額	5,340	事業主体	鳥取県漁業協同組合
本年度要求額	5,340	事業期間	16年(H23~38年度)
総務部長段階査定額	5,340	事業費	5,340千円/年
市長段階査定額	5,340	(事業の実績)	平成27年度 6,034千円 平成28年度 5,175千円 平成29年度 7,890千円 (機器整備有) (見込)
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	2,848	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	2,492	財産収入	0
計	5,340	寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農055	項目名	漁港施設維持管理事業費	新規事業
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	251
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	一般会計	事業の概要	
款	農林水産業費	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236	
項	水産業費	【10次総の施策体系】2104	
目	水産業振興費	【事業の経過及び背景】 平成12年度に鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長和瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。	
前年度当初予算額	50,092	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 漁港施設維持管理（光熱水費、維持修繕費等） 一式 福部地域 7,272千円 気高地域 25,375千円 青谷地域 15,320千円 (事業の実績) 平成27年度 40,985千円 平成28年度 58,271千円 平成29年度 71,238千円（見込）	
本年度要求額	52,451		
総務部長段階査定額	47,967	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 漁港施設維持管理（光熱水費、維持修繕費等） 一式 福部地域 7,272千円 気高地域 25,375千円 青谷地域 15,320千円 (事業の実績) 平成27年度 40,985千円 平成28年度 58,271千円 平成29年度 71,238千円（見込）	
市長段階査定額	47,967		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 4,086	分担金 0	
	地方債 0	負担金 0	
	その他 3,169	使用料 3,169	
	一般財源 40,712	手数料 0	
計	47,967	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		雑収入 0	
		その他 0	
行財政改革課処理欄			

農056	項目名	水産多面的機能発揮対策事業費	新規事業
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	251
年度	H30	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	一般会計	事業の概要	
款	農林水産業費	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236	
項	水産業費	【10次総の施策体系】2104	
目	水産業振興費	【事業の経過及び背景】 漁業者の高齢化、漁村人口の減少等により、水産業・漁村の多面的機能の発揮に支障が生じている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】 環境・生態系の維持・回復や、安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援することで、本市水産業の振興を図る。	
前年度当初予算額	498	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 内容 藻場の制作・設置、種苗の投入、食害生物の除去 事業費 3,320千円（国70%、県15%、市15%） 実施団体 酒津、浜村、青谷地区の環境保全活動組織 (事業の実績) ※平成28年度より開始 事業費 助成額 平成28年度 1,304千円 196千円 平成29年度 3,320千円 498千円（見込）	
本年度要求額	498		
総務部長段階査定額	498	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 内容 藻場の制作・設置、種苗の投入、食害生物の除去 事業費 3,320千円（国70%、県15%、市15%） 実施団体 酒津、浜村、青谷地区の環境保全活動組織 (事業の実績) ※平成28年度より開始 事業費 助成額 平成28年度 1,304千円 196千円 平成29年度 3,320千円 498千円（見込）	
市長段階査定額	498		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0	分担金 0	
	地方債 0	負担金 0	
	その他 0	使用料 0	
	一般財源 498	手数料 0	
計	498	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		雑収入 0	
		その他 0	
行財政改革課処理欄			

農057	項目名	栽培漁業推進支援事業費		新規事業
予算書項目	栽培漁業推進支援事業費	ページ	251	所 属 名
年度	H30	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 これまで、本市においては県と連携しながら栽培漁業を推進し、水産物の安定供給・地域振興に資するため、漁業者が行う種苗等放流事業に助成してきた。			
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、種苗等を放流し漁獲量の増加を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業内容) 放流種苗等 アワビ、サザエ、岩ガキ、ワカメ、キジハタ 放流量 23,700個、51,000個、1,000個、260m、24,898尾 事業費 5,662千円(内市助成額1,122千円) (事業の実績) 事業費 市 平成27年度 1,576千円 514千円 平成28年度 4,641千円 978千円 平成29年度 5,392千円 1,177千円(見込)			
前年度当初予算額	1,177	行財政改革課処理欄		
本年度要求額	1,122			
総務部長段階査定額	1,122	その他財源の内訳		
市長段階査定額	1,122	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	0	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	1,122	繰入金	0	
計	1,122	雑収入	0	
		その他	0	

農058	項目名	漁業研修事業費		新規事業
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	251	所 属 名
年度	H30	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 現在、漁業就労者は減少傾向にあり、また高齢化も進行しており将来の漁業者の不足が懸念されている。また、新規に漁業への就業を希望する者はほとんど漁業経験がなく新たに漁業に従事するためには漁業技術等の研修が必要である。			
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁業経営体及び漁協等が新規漁業就業希望者に対し、漁業技術等の研修を実施することにより、新規就業者を円滑に育成し、水産業の振興を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業内容) 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。 事業主体 漁業経営体、漁協等 事業対象漁業種 沿岸漁業、沖合底びき網漁業 雇用予定者 新規3名 継続1名 事業費 8,751千円(県 7,765千円、市 986円) (事業の実績) 平成27年度 4,327千円(6名) 平成28年度 8,115千円(7名) 平成29年度 2,528千円(5名)(見込)			
前年度当初予算額	10,261	行財政改革課処理欄		
本年度要求額	11,831			
総務部長段階査定額	8,751	その他財源の内訳		
市長段階査定額	8,751	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	7,765	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	986	繰入金	0	
計	8,751	雑収入	0	
		その他	0	

農059	項目名	漁獲共済掛金軽減事業費	新規事業
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	251
年度	H30	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 新日韓漁業協定により本市漁船の水揚げは減少し、漁業経営が悪化している。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁船の水揚げ減少による漁業経営の悪化を漁獲共済の活用を促進することによって緩和し、本市漁業の維持、存続を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業内容) 国・県と連携しながら、漁獲共済の掛金に対し助成を行う。		
前年度当初予算額	1,412	助成件数 66件 助成額 1,235千円	
本年度要求額	1,235	(事業の実績)	
総務部長段階査定額	1,235	助成件数 助成費	
市長段階査定額	1,235	平成27年度 65件 1,251千円	
		平成28年度 65件 1,240千円	
		平成29年度 12件 401千円(見込)	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	1,235	財産収入	0
計	1,235	寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農060	項目名	水道事業会計へ繰出	新規事業
予算書項目	水道事業会計へ繰出	ページ	235
年度	H30	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-20-3241		
款 衛生費	【10次総の施策体系】4201		
項 他会計繰出	【事業の経過及び背景】 水道事業会計につき地方公営企業法に規定されているもの及び、特に必要と認められるものに対する繰出。		
目 水道事業会計へ繰出	【事業の目的及び効果】 水道事業会計への一般会計からの繰出により市水道事業の下支えを実施。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 水道事業会計への繰出 974,643千円		
前年度当初予算額	1,134,142	<事業の実績>	
本年度要求額	982,143	水道事業	簡水事業
総務部長段階査定額	974,643	平成27年度 72,412千円	303,272千円
市長段階査定額	974,643	平成28年度 99,778千円	327,247千円
		平成29年度(見込) 1,082,223千円	-
			合計
			375,684千円
			427,025千円
			1,082,223千円
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	46,100	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	928,543	財産収入	0
計	974,643	寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農061	項目名	環境保全型農業直接支払交付金		新規事業																				
予算書項目	環境保全型農業直接支払交付金	ページ	243	所 属 名																				
年度	H30	農林水産部 農村整備課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-20-3241																							
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104																							
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るためには、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、国内農業の再生を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進することが必要である。 平成27年度から法制化がなされ、「環境保全型農業直接支払交付金」事業を実施している。																							
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 環境保全に効果の高い営農活動の普及推進を通じて、農業生産全体のあり方を環境保全を重視したものに転換していくことにより、地球温暖化防止及び生物多様性保全を図る。																							
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業内容 地球温暖化防止、生物多様性保全等に効果の高い営農活動に対する支援。 ・事業費 補助金:7,690千円(国50%、県25%、市25%)、事務費:30千円 (事業の実績) 平成27年度 4,451千円 平成28年度 6,469千円 平成29年度 7,449千円(見込)																							
前年度当初予算額	8,485	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度要求額	8,492																							
総務部長段階査定額	7,720	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>5,797</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,923</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,720</td> </tr> </table>			区 分	本年度予算額	国・県支出金	5,797	地方債	0	その他	0	一般財源	1,923	計	7,720								
区 分	本年度予算額																							
国・県支出金	5,797																							
地方債	0																							
その他	0																							
一般財源	1,923																							
計	7,720																							
市長段階査定額	7,720																							
行財政改革課処理欄																								

農062	項目名	農道舗装補修等事業費		新規事業																				
予算書項目	農道舗装補修等事業費	ページ	243	所 属 名																				
年度	H30	農林水産部 農村整備課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244																							
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104																							
項 農業費	【事業の経過及び背景】 国内において食料を安定的に供給することの重要性が増すなか、農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められている。																							
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農道を整備することにより、農産物や農業用資材等の運搬を効率的に行うことができ、また農業用水路等を整備することにより、必要な用水量を確保し、排水の能力を高めることで農産物の生産性の向上を図る。農業用施設全般の適正な補修・修繕等をもって、農業環境の整備を行う。																							
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業内容 農道舗装、用排水路の補修・改良等 ・事業費 39,635千円(負担割合:県40%、市40%、地元20%) (事業の実績) 平成27年度 30,726千円 平成28年度 25,413千円 平成29年度 32,576千円(見込)																							
前年度当初予算額	29,400	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>5,327</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	5,327	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	5,327																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度要求額	45,776																							
総務部長段階査定額	39,635	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>17,154</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,327</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>17,154</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>39,635</td> </tr> </table>			区 分	本年度予算額	国・県支出金	17,154	地方債	0	その他	5,327	一般財源	17,154	計	39,635								
区 分	本年度予算額																							
国・県支出金	17,154																							
地方債	0																							
その他	5,327																							
一般財源	17,154																							
計	39,635																							
市長段階査定額	39,635																							
行財政改革課処理欄	* その他財源の負担金は受益者負担金																							

農063	項目名	小規模土地改良事業費	新規事業
予算書項目	小規模土地改良事業費	ページ	243
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 国内において食料を安定的に供給することの重要性が増すなか、農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設の整備・補修が求められている中、地元において農道・水路等の簡易な補修を行うため、補修用原材料支給が要望されている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 地元が実施する農業用施設の補修に際し、市から原材料を支給することにより、負担金なしで施工が可能となり、地域で共同して行う土地改良施設の維持管理活動を促進する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業内容 地元が実施する土地改良施設等の補修に対する原材料(生コン、モルタル、砕石等)の支給 ・事業費 6,000千円(負担割合:県50%、市50%) (事業の実績) 平成27年度 6,301千円 平成28年度 5,427千円 平成29年度 6,000千円(見込)		
前年度当初予算額	6,000	その他財源の内訳	
本年度要求額	7,000	分担金	0
総務部長段階査定額	6,000	負担金	0
市長段階査定額	6,000	使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳		財産収入	0
国・県支出金	3,000	寄付金	0
地方債	0	繰入金	0
その他	0	雑収入	0
一般財源	3,000	その他	0
計	6,000		
行財政改革課処理欄			

農064	項目名	大井手地区集落基盤整備事業費(用水再編型)	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 現在、大井手用水を活用して古海揚水機場より湖山砂丘畑へ送水しているが、送水施設(ポンプ)が老朽化し更新が必要となっている。また、大井手下流域の用水量を効率化し送水する必要があるため、必要な取水ゲート等を整備する必要がある。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 ポンプ、樋門、水路等の改修・整備を行い、無駄のない効率的な水利用をすることで必要水量を確保し、用水確保に苦慮している農家の営農活動安定化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業主体 鳥取県(平成24年度~平成30年度) ・総事業費 670,000千円(負担区分:国50%、県30%、市15%、地元5%) ・受益 戸数845戸 面積220.1ha ・事業内容 ①湖山砂丘畑送水対策(徳吉ポンプ場取水槽、池口揚水機場ポンプ、調整水槽、送水管等整備) ②大井手下流域番水解消対策(転倒堰、スライドゲート、送水管、水路等整備) 平成30年度 ・事業費 16,000千円 (事業の実績) 平成27年度 2,649千円 平成28年度 5,501千円 平成29年度 1,501千円(見込)		
前年度当初予算額	5,908	その他財源の内訳	
本年度要求額	2,400	分担金	0
総務部長段階査定額	2,400	負担金	0
市長段階査定額	2,400	使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳		財産収入	0
国・県支出金	0	寄付金	0
地方債	2,100	繰入金	0
その他	0	雑収入	0
一般財源	300	その他	0
計	2,400		
行財政改革課処理欄			

農065	項目名	山上・水根地区地域ため池総合整備事業費	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農地費	河原町山上地区と水根地区において、5箇所のため池の総合整備計画を策定した。そのうち、馬場堤(山上地区)及び湯坂谷池(水根地区)は、取水施設の老朽化が著しく取水管理が困難であり、早急な改善措置を行う必要が生じた。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	160	万が一、ため池が決壊した場合、下流の農地、農業用施設、民家等の被災が想定されるため、堤体の改修等必要な整備を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を保つとともに、農地、農作物及び農業用施設の被害を未然に防ぎ、農家経営の安定化を図る。また地域全体の防災安全度を向上させる。	
本年度要求額	7,680	【事業の内容・実績】	
総務部長段階査定額	7,680	(事業の内容)	
市長段階査定額	7,680	・実施主体 鳥取県(平成24年度～平成30年度)	
区分	本年度予算額	・事業箇所 河原町山上地区:馬場堤 河原町水根地区:湯坂谷池	
国・県支出金	0	・総事業費 159,000千円(負担区分:国55% 県29% 市14% 地元2%)	
地方債	6,000	・事業内容 ため池改修2箇所	
その他	960	・受益 個数74戸(馬場堤73戸、湯坂谷池31戸)	
一般財源	720	・受益面積 16ha(馬場堤15ha、湯坂谷池7ha)	
計	7,680	平成30年度	
財源内訳		・事業費 48,000千円	
国・県支出金	0	・事業内容 湯坂谷池本体工事	
地方債	6,000	(事業の実績)	
その他	960	平成27年度 800千円	
一般財源	720	平成28年度 3,200千円	
計	7,680	平成29年度 960千円(見込)	
行財政改革課処理欄		* その他財源の負担金は、受益者負担金	

農066	項目名	大口堰農業水利施設保全合理化事業費	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農地費	国は水利用・水管理の効率化・省力化を図るため、水路の再編・パイプライン化等を推進し、地域の中心となる経営体への農地集積を加速するため、平成25年度に農業水利施設保全合理化事業を創設した。鳥取県はこの制度を活用し、大口堰の水利利用合理化事業を行っており、本市はこれに伴う負担金を支出する。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	20,000	大口堰は大口堰土地改良区が管理しているが、土砂吐は老朽化の進行や、人力による堰板の開閉作業は非常に危険な状況である。土砂吐の自動化整備を行い、水利用・水管理の省力化と担い手への集積を促進する。	
本年度要求額	8,000	【事業の内容・実績】	
総務部長段階査定額	8,000	(事業の内容)	
市長段階査定額	8,000	・実施主体 鳥取県(平成27年度～平成30年度)	
区分	本年度予算額	・事業箇所 大口堰	
国・県支出金	0	・総事業費 364,000千円(負担区分:国50%、県27.5%、市10%、地元12.5%)	
地方債	7,200	・事業内容 頭首工 土砂吐改修 自動転倒ゲートW10m×H1.9m	
その他	0	<平成30年度>	
一般財源	800	・事業費 80,000千円	
計	8,000	・事業内容 土砂吐上部工1式	
財源内訳		(事業の実績)	
国・県支出金	0	<平成27年度> 217千円	
地方債	7,200	<平成28年度> 4,134千円	
その他	0	<平成29年度> 3,000千円(見込)	
一般財源	800		
計	8,000		
行財政改革課処理欄			

農067	項目名	大口堰農村地域防災減災事業費		新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243	所属名
年度	H30	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農地費	我が国は年間を通じて降雨が多く、台風の常襲地帯である。また大規模な地震、津波による被害を受ける危険にさらされている。近年の集中豪雨や地震等の災害により農業施設が被災し、農地のみならず地域住民の生命・財産にも被害を及ぼす危険性を鑑み、農業施設の整備状況を把握し、改修等整備を行うことで総合的な防災・減災対策を図ることで災害に強い農村づくりを推進する。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	10,000	大口堰は、昭和50年代の災害復旧事業で大規模な改修が行われ、その後数回の改修を経て、現在の形状となっているが、固定堰直下の護床ブロック等は経年劣化による不等沈下や隆起等の不具合を生じている。改修を行うことにより水流を正常化し、流域の水災害を防止する。		
本年度要求額	2,640	【事業の内容・実績】		
総務部長段階査定額	2,640	(事業の内容)		
市長段階査定額	2,640	・実施主体 鳥取県(平成27年度～平成30年度)		
区分	本年度予算額	・事業箇所 大口堰		
国・県支出金	0	・総事業費 442,000千円(負担区分:国55%、県37%、市8%)		
地方債	2,300	・事業内容 護床工(護床ブロック)一式		
その他	0	<平成30年度>		
一般財源	340	・事業費 33,000千円		
計	2,640	・事業内容 護床ブロック据付		
行財政改革課処理欄		(事業の実績)		
		平成27年度 3,360千円		
		平成28年度 6,400千円		
		平成29年度 10,400千円(見込)		

農068	項目名	湖山砂丘特定農業用管路等特別対策事業費		新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243	所属名
年度	H30	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農地費	湖山砂丘地区のかんがい用水管は、昭和28～34年度の県営及び団体営かんがい排水事業により造成され、当時安価で施工性に優れていた石綿管が主に使用されている。供用開始から50年以上経過していることから、近年は老朽化による管の破裂や漏水事故が頻発しており、用水の安定供給のみならず、修繕時における石綿粉塵飛散による健康被害が危惧されている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	18,000	石綿管使用の管路を全体的に変更・更新することで、石綿に起因する健康被害等への影響を未然に防止し、かつ用水確保の効率化に伴う農業経営安定及び維持を図るもの。		
本年度要求額	12,623	【事業の内容・実績】		
総務部長段階査定額	12,623	(事業の内容)		
市長段階査定額	12,623	・事業主体 鳥取県(平成27年度～平成34年度)		
区分	本年度予算額	・総事業費 1,631,000千円(負担区分:国55%、県34%、市9%、地元2%)		
国・県支出金	0	・事業内容 石綿管更新 L=28,595m		
地方債	11,300	・受益 戸数479戸 面積97.3ha		
その他	0	<平成30年度>		
一般財源	1,323	・事業費 140,252千円		
計	12,623	・事業内容 管路工 L=4,500m(撤去新設)、測量設計 一式		
行財政改革課処理欄		(事業の実績)		
		平成27年度 897千円		
		平成28年度 4,376千円		
		平成29年度 9,000千円(見込)		

農069	項目名	桂見地区農村地域防災減災事業費		新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243	所属名
年度	H30	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農地費	平成26年度に行われた地域ため池一斉点検において、鳥取市桂見地区にある西谷池から著しい漏水が確認された。周辺農地の主要な取水源になっているため池であるため、地元地区で簡易な補修を試みたが改善はみられず、このままでは堤体の崩壊による災害が危惧されるため早急な対策が必要となった。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	2,200	堤体の改修を行うことでため池の決壊を防止し、農業に必要なかんがい用水を確保するとともに、ため池下流域に広がる地域の水災害を防止する。		
本年度要求額	2,750	【事業の内容・実績】		
総務部長段階査定額	2,750	(事業の内容)		
市長段階査定額	2,750	・実施主体 鳥取県(平成29年度～平成30年度)		
区分	本年度予算額	・事業箇所 西谷池		
国・県支出金	0	・総事業費 85,000千円(負担区分:国55% 県34% 市11%)		
地方債	2,400	・事業内容 ため池改修1箇所		
その他	0	<平成30年度>		
一般財源	350	・事業費 25,000千円		
計	2,750	・事業内容 ため池改修		
行財政改革課処理欄		(事業の実績)		
		平成29年度 8,800千円(見込)		

農070	項目名	河内地区土地改良事業費		新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243	所属名
年度	H30	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農地費	鳥取市河内地区は農家の高齢化・後継者不足が深刻であり、農地の耕作者が減少してきている。この地域の農地はほ場整備が未実施で、農地の耕作放棄の進行が懸念されている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	2,250	河内地区では、集落営農による集団的な農業の取り組みを検討しているが、農地が狭小・不整形な場所については大規模機械による効率的な営農が難しい。ほ場整備を行うことで農業基盤を整備し、組織的営農を促進する。		
本年度要求額	3,600	【事業の内容・実績】		
総務部長段階査定額	3,600	(事業の内容)		
市長段階査定額	3,600	・実施主体 鳥取県(平成29年度～平成32年度)		
区分	本年度予算額	・事業箇所 河内地区		
国・県支出金	0	・総事業費 153,000千円(負担区分:国55%、県30%、市10%、地元5%)		
地方債	2,100	・事業内容 ほ場整備 A=11.0ha		
その他	1,200	<平成30年度>		
一般財源	300	・事業費 24,000千円		
計	3,600	・事業内容 区画整理 7.0ha		
行財政改革課処理欄		(事業の実績)		
		平成28年度 1,593千円		
		平成29年度 2,250千円(見込)		
		*その他財源の負担金は、受益者負担金		

農071	項目名	宮ノ下・大杙地区土地改良事業費	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243
年度	H30	所属名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 袋川に設置されている鳥取市国府町宮ノ下地区と大杙地区の2箇所の頭首工が使用されないまま老朽化し、地震または洪水などの災害時に、堤防が決壊し住宅地へ被害が及ぶ危険性がある。被害を未然に防止するため、頭首工を撤去することが緊喫の課題となっており、農業用河川工作物応急対策事業により、頭首工撤去における事業計画を策定した。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 頭首工を撤去することで、破堤による住民への被害を未然に防止し、地域の安全を保証する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県(平成30年度～平成34年度) ・事業箇所 国府町宮ノ下地区、大杙地区 ・総事業費 259,200千円(負担区分:国55%、県37%、市8%) ・事業内容 頭首工撤去 <平成30年度> ・事業費 15,000千円 ・事業内容 実施設計 (事業の実績) 平成29年度 4,450千円(見込)		
前年度当初予算額	4,450	その他財源の内訳	
本年度要求額	1,200	分担金	0
総務部長段階査定額	1,200	負担金	0
市長段階査定額	1,200	使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	国・県支出金	財産収入	0
地方債	1,000	寄付金	0
その他	0	繰入金	0
一般財源	200	贈収入	0
計	1,200	その他	0
行財政改革課処理欄			

農072	項目名	山根地区土地改良事業費	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243
年度	H30	所属名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 青谷町山根地区は農家の高齢化・後継者不足が深刻であり、農地の耕作者が減少してきている。この地域の農地は、ほ場整備が未実施で、農地の耕作放棄化の進行を懸念している。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 青谷町山根地区では、集落営農による集団的な農業の取り組みを検討しているが、農地が狭小・不整形な場所については大規模機械による効率的な営農が難しい。ほ場整備を行うことで農業基盤を整備し、組織的営農を促進する。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県(平成30年度～平成34年度) ・事業箇所 山根地区 ・事業費 197,500千円(負担区分:国55%、県30%、市10%、地元5%) ・事業内容 ほ場整備 <平成30年度> ・事業費 26,000千円 ・事業内容 実施設計、換地計画作成 (事業の実績) 平成29年度 2,500千円(見込)		
前年度当初予算額	2,500	* その他財源の負担金は、受益者負担金	
本年度要求額	3,900	その他財源の内訳	
総務部長段階査定額	3,900	分担金	0
市長段階査定額	3,900	負担金	1,300
区分	本年度予算額	使用料	0
財源内訳	国・県支出金	手数料	0
地方債	2,300	財産収入	0
その他	1,300	寄付金	0
一般財源	300	繰入金	0
計	3,900	贈収入	0
行財政改革課処理欄			

農073	項目名	五本松地区土地改良事業費		新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	243	所 属 名
年度	H30	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】 2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 五本松地区は、昭和47年から55年にかけて鳥取市青谷町の五本松団地に造成が行われ、これまで、梨、花木、櫛などを栽培し地場産業の振興に寄与してきた地区である。 しかし、近年は揚水設備の老朽化により揚水能力が低下しており、特に梨栽培において作業効率が低下し、農業者の負担が増加している。			
目 農地費	【事業の目的及び効果】 揚水系統の見直しを含め揚水施設の更新・改修を行い、維持管理の低コスト化及び農業生産性の向上を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県(平成29年度～平成32年度) ・事業個所 鳥取市青谷町河原(五本松地区) ・受益 戸数38戸 面積15ha ・総事業費 66,000千円(負担区分 国50%、県25%、市10%、地元15%) ・事業内容 揚水施設の更新・改修 <平成30年度> ・事業費 10,000千円 ・事業内容 実施設計			
前年度当初予算額	2,000	【事業の実績】 平成29年度 1,750千円(見込)		
本年度要求額	2,500	* その他財源の負担金は、受益者負担金		
総務部長段階査定額	2,500	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県(平成29年度～平成32年度) ・事業個所 鳥取市青谷町河原(五本松地区) ・受益 戸数38戸 面積15ha ・総事業費 66,000千円(負担区分 国50%、県25%、市10%、地元15%) ・事業内容 揚水施設の更新・改修 <平成30年度> ・事業費 10,000千円 ・事業内容 実施設計		
市長段階査定額	2,500	【事業の実績】 平成29年度 1,750千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県(平成29年度～平成32年度) ・事業個所 鳥取市青谷町河原(五本松地区) ・受益 戸数38戸 面積15ha ・総事業費 66,000千円(負担区分 国50%、県25%、市10%、地元15%) ・事業内容 揚水施設の更新・改修 <平成30年度> ・事業費 10,000千円 ・事業内容 実施設計		
財源内訳		【事業の実績】 平成29年度 1,750千円(見込)		
国・県支出金	0	* その他財源の負担金は、受益者負担金		
地方債	900			
その他	1,500			
一般財源	100			
計	2,500			
行財政改革課処理欄				

農074	項目名	ほ場整備関連事業費		新規事業
予算書項目	かんがい排水等整備事業費	ページ	243	所 属 名
年度	H30	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】 2104			
項 農業費	【事業の目的及び効果】 県営事業の河内地区、青谷町山根地区ほ場整備事業の換地業務を県から受託する。			
目 農地費	【事業の内容・実績】 (事業の内容) <河内地区> ・事業年度 平成30年度 ・事業個所 河内地区 ・内容 換地業務一式 ・事業費 7,984千円 ・財源内訳 県(100%) <山根地区> ・事業年度 平成30年度 ・事業個所 青谷町山根地区 ・内容 換地業務一式 ・事業費 5,300千円 ・財源内訳 県(100%)			
(単位:千円)	【事業の実績】 平成29年度 7,500千円(見込)			
前年度当初予算額	7,500	* その他財源の諸収入は、県委託料		
本年度要求額	13,284			
総務部長段階査定額	13,284	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県(平成29年度～平成32年度) ・事業個所 鳥取市青谷町河原(五本松地区) ・受益 戸数38戸 面積15ha ・総事業費 66,000千円(負担区分 国50%、県25%、市10%、地元15%) ・事業内容 揚水施設の更新・改修 <平成30年度> ・事業費 10,000千円 ・事業内容 実施設計		
市長段階査定額	13,284	【事業の実績】 平成29年度 1,750千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県(平成29年度～平成32年度) ・事業個所 鳥取市青谷町河原(五本松地区) ・受益 戸数38戸 面積15ha ・総事業費 66,000千円(負担区分 国50%、県25%、市10%、地元15%) ・事業内容 揚水施設の更新・改修 <平成30年度> ・事業費 10,000千円 ・事業内容 実施設計		
財源内訳		【事業の実績】 平成29年度 1,750千円(見込)		
国・県支出金	0	* その他財源の負担金は、受益者負担金		
地方債	0			
その他	13,284			
一般財源	0			
計	13,284			
行財政改革課処理欄				

農075	項目名	農業基盤整備促進事業費		新規事業
予算書項目	農業基盤整備促進事業費		ページ	243
年度	H30		所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業生産基盤の整備をきめ細かく実施し、意欲ある農業者が安心して新しい営農に取り組めるよう、農業用排水施設、暗渠排水の新設変更等の農業基盤整備を行う。			
目 農地費	【事業の目的及び効果】 老朽化施設の更新、用排水施設の増設等の農業水利施設の整備、暗渠排水等の農地の整備をきめ細かく実施し、排水不良や、用水不足に対応するとともに経営規模の拡大や、戦略作物・地域振興作物の生産を促進し農業所得の向上に資する。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	12,120	(事業の内容)		
本年度要求額	18,290	・事業内容 農業用排水路整備・区画整理		
総務部長段階査定額	6,140	・事業個所 良田地区		
市長段階査定額	6,140	・事業費 6,000千円(負担区分:国50%、県15%、市15%、地元20%)		
		・事務費 140千円		
		(事業の実績)		
		平成27年度 27,603千円		
		平成28年度 15,767千円		
		平成29年度 12,120千円(見込)		
		*その他財源の負担金は、受益者負担金		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	3,900	負担金	1,200	
地方債	0	使用料	0	
その他	1,200	手数料	0	
一般財源	1,040	財産収入	0	
計	6,140	寄付金	0	
		繰入金	0	
		雑収入	0	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

農076	項目名	多面的機能支払交付金		新規事業
予算書項目	多面的機能支払事業費		ページ	245
年度	H30		所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-20-3241			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有しており、その利益は広く国民が享受している。しかしながら、近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動により支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。また、地域の共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されている。			
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。また、これにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しする。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額	177,663	(事業の内容)		
本年度要求額	214,785	①事業費 207,032千円		
総務部長段階査定額	207,032	農地維持支払交付金 78,927千円		
市長段階査定額	207,032	資源向上支払交付金 124,741千円		
		②事務費 3,364千円		
		(事業の実績)		
		平成27年度 198,492千円		
		平成28年度 204,699千円		
		平成29年度 193,188千円(見込)		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	155,214	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	51,818	財産収入	0	
計	207,032	寄付金	0	
		繰入金	0	
		雑収入	0	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

農077	項目名	市街地河川環境維持事業費	新規事業																				
予算書項目	市街地河川環境維持事業費	ページ	245																				
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農村整備課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244																						
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】 2104																						
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取市を流れる一級河川山白川は、農業用水・生活用水において重要な機能を有しており、自然環境や景観・防災にも重要な役割を果たしている。この河川環境を保持していくためには、清掃だけではなく通水管理等が必要であるが、それを担う土地改良区の負担は増大している。																						
目 農地費	【事業の目的及び効果】 河川環境保持のため農業用水路等を利用した通水管理を行う大口堰土地改良区に対して、増加する維持管理経費の負担を軽減し、通水管理を適切に行うことで、河川環境保持、豪雨時の河川氾濫防止を図る。																						
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 市街地の河川環境改善を図ることを目的に導水する場合において、経路となる農業用水路等の維持管理に要する経費に対して補助する。 <平成30年度> 大口堰土地改良区 400千円																						
前年度当初予算額	400	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	雑収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
雑収入	0																						
その他	0																						
本年度要求額	400	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>400</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	400	計	400								
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	400																						
計	400																						
総務部長段階査定額	400	<table border="1"> <tr> <th>財源内訳</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>400</td> </tr> </table>		財源内訳	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	400	計	400								
財源内訳	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	400																						
計	400																						
市長段階査定額	400	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>400</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	400	計	400								
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	400																						
計	400																						
行財政改革課処理欄																							

農078	項目名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費	新規事業																				
予算書項目	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費	ページ	245																				
年度	H30	所 属 名	農林水産部 農村整備課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 総務係 0857-20-3241																						
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】 2104																						
項 農業費	【事業の経過及び背景】 中山間地域では高齢化・担い手不足が進行し、集落・地域だけでは農業生産基盤の維持管理が困難となってきている地域が増加しており、都市部の市民や企業など外部からのサポートが求められている。																						
目 農地費	【事業の目的及び効果】 地域貢献に前向きな都市部の自治会・企業等の外部サポーターとの協働により、低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、新たな地域ブランド等を創出する意欲的に生産基盤の保全・自立的な農業を行う集落・地域に対して支援することで、交流活動を通じた農業・農村の保全意識を高める。																						
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ○共生の里推進加速化事業 企業との連携協定により農地・用水路・農道などの地域資源保全活動、営農支援に必要な経費に対して助成する。 <平成30年度> 事業費 2,100千円 4協定(補助率:県2/3、市1/3) ○むら・まち支え合い共生促進事業 都市部の町内会等との協定により行う資源維持保全作業や農業体験等に必要な経費に対して助成する。 <平成30年度> 事業費 585千円 2協定(補助率:県2/3、市1/3)																						
前年度当初予算額	2,370	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	雑収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
雑収入	0																						
その他	0																						
本年度要求額	2,685	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>1,790</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>895</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,685</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	1,790	地方債	0	その他	0	一般財源	895	計	2,685								
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	1,790																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	895																						
計	2,685																						
総務部長段階査定額	2,685	<table border="1"> <tr> <th>財源内訳</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>1,790</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>895</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,685</td> </tr> </table>		財源内訳	本年度予算額	国・県支出金	1,790	地方債	0	その他	0	一般財源	895	計	2,685								
財源内訳	本年度予算額																						
国・県支出金	1,790																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	895																						
計	2,685																						
市長段階査定額	2,685	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>1,790</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>895</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,685</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	1,790	地方債	0	その他	0	一般財源	895	計	2,685								
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	1,790																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	895																						
計	2,685																						
行財政改革課処理欄																							

農079	項目名	中山間地域等直接支払交付金	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	中山間地域等直接支払事業費	ページ	245
-------	---------------	-----	-----

所属名	農林水産部 農村整備課
-----	----------------

年度	H30
----	-----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業構造改善事業費

(単位:千円)

前年度当初予算額	110,042
----------	---------

本年度要求額	109,058
--------	---------

総務部長段階査定額	109,058
-----------	---------

市長段階査定額	109,058
---------	---------

区分	本年度予算額
国・県支出金	80,862
地方債	0
その他	0
一般財源	28,196
計	109,058

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
雑収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要
<p>【問合せ先】総務係 0857-20-3241</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 中山間地域等直接支払制度は、第1期対策（H12～H16）、第2期対策（H17～H21）、第3期対策（H22～H26）を経て、高齢化に配慮した、より取り組みやすい制度へと見直した上で、平成27年度より第4期対策として継続して行われている（通算19年目）。</p> <p>【事業の目的及び効果】 条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払を実施することで、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。</p> <p>【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・対象地域 特定農山村法、山村振興法、過疎法に指定された地域及び県知事が特に必要と認める地域のうち、急傾斜地（田1/20以上、畑15度以上）及び、緩傾斜（田1/20未満1/100以上、畑15度未満8度以上）で面的まとまりのある農用地等。 ・対象者 集落協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う農業者。 ・事業実施期間 平成27年度より5年間(第4期対策) <平成30年度> ①事業費 107,410千円 補助率：三法地域：国50%、県25%、市25% 知事特認地域：国33%、県33%、市34% ②事務費 1,648千円</p> <p>(事業の実績) 平成27年度 103,002千円 平成28年度 106,493千円 平成29年度 111,096千円（見込）</p>